

令和6年度 施行

坂の上幹線明渠排水路護岸改築工事

(農 林 課 土 地 改 良 係)

公示用

令和6年度

農業水路等長寿命化・防災減災事業

坂の上幹線明渠排水路護岸改築工事

特記仕様書

総 則

1. 本工事は、下表に示した仕様書に基づき施工すること。

北海道開発局	農業土木工事仕様書	○
	道路・河川工事仕様書	○
	電気通信工事仕様書	
	測量調査業務共通仕様書	
	地質・調査業務共通仕様書	
国土交通省大臣官房官庁営繕部	(営繕関係) 建築工事仕様書、電気設備共通仕様書	
北海道農政部	北海道農業土木共通仕様書	○

2. 上表の他、下表に示した図書類の該当事項を参考とすること。
なお、下記に示した項目以外の図書類についても監督職員の指示により適用する場合がある。

北海道開発局	パイプライン施工マニュアル	
	寒地フルーム水路設計施工要領	○
北海道開発局	「設計図書の照査ガイドライン」案	○
北海道開発局	工事請負契約における設計変更ガイドライン(案)	○
北海道開発局	設計変更事例集(案)	○
国土交通省	工事一時中止に係るガイドライン(案)	○
農林水産省	土木工事共通仕様書・施設機械工事等共通仕様書	○
農林水産省	土木工事施工管理基準	○
大成出版社	建設副産物適正処理推進要綱の解説	○
北海道農政部	用排水路設計指針	○

3. 仕様書及び関連図書類に記載されていない事項は、工種毎に明示した本特記仕様書によること。
(○印により明示したものが本工事に適用する条項であり、○印内数字は設計変更回数である。×印は設計変更で減じた条項である。)

4. 本特記仕様書に定めない事項または、施工に当たり疑義が生じた場合は、速やかに監督職員と協議すること。

5. 工事内容に変更が生じた場合は、本特記仕様書の内容変更及び追加をすることがある。

6. 本工事は公示用設計書により積み上げしており、図面記載の内容と差異があった場合は設計変更により変更を行う場合がある。

共 通



1. 目的 本工事は、農業水路等長寿命化・防災減災事業に基づき「坂の上幹線明渠排水路」を改修するものである。



2. 工事場所 北海道 河西 郡 芽室 町 字 新生11線9-3 地先



3. 施工条件明示

(表-1)

明示項目	該当 ○印	明 示 事 項	施 工 条 件
工事全般関係		1. 各種積算の取り組みの有無	
		(1) 見積活用方式対象工事である。	
		(2) 施工箇所が点在している。	
		2. 補正の有無 [全体] ※明示事項以外も含む。	
	○	(1) 主たる工種。	排水路工事
		(2) 施工地域補正。	
	○	(3) 積雪寒冷地補正。	0.56%
	○	(4) 現場環境改善費。	あり
	○	(5) その他補正。 該当補正→ ()	4週8休以上
		2-1. 補正の有無 [○○工区] ※明示事項以外も含む。	
		(1) 主たる工種。	
		(2) 施工地域補正。	
		(3) 積雪寒冷地補正。	
		(4) 現場環境改善費。	
	(5) その他補正。 該当補正→ ()		

(表 - 2)

明示項目	該当 ○印	明 示 事 項	施 工 条 件	
工程関係		1. 他の工事の開始又は完了の時期により、当該工事の施工時期、全体工期等に影響がある。	影響箇所及び他の工事の内容 他の工事の開始時期 " 完了時期	
	○	2. 施工時期、施工時間及び施工方法が制限される。	施工内容	非出水期
			施工時期	
			施工時間	
		3. 関係機関との協議が未成立である。	施工方法	
			制約を受ける内容 協議内容 成立見込み時期	
	4. 関係機関、自治体等からの特定条件がある。	項目及び影響範囲		
	○	5. 余裕期間制度活用工事である。	該当方式を記載	任意着手方式 共通 - 8
		6. 施工区域に埋蔵文化財が存在する 工事着手前に地下埋設物及び埋蔵文化財等の事前調査を 必要とする地下埋設物等の移設が予定されている。	項目・調査期間 移 設 期 間	
用地関係		1. 工事用地等に未処理部分がある。	場所・範囲 処理の見込み時期	
	○	2. 工事用地等の使用終了後における扱い	復旧内容	管理用道路
		3. 工事用仮設道路・資機材置場用の借地をさせる場合。	場所・範囲 時期・期間 使用条件・復旧方法	

(表 - 3)

明示項目	該当 ○印	明 示 事 項	施 工 条 件	
公害対策関係		1. 工事に伴う公害防止（騒音、振動、粉塵、排出ガス等）のため施工方法、建設機械・設備、作業時間等の指定がある。	施工方法・機械設備 作業時間	
		2. 水替・流入防止施設が必要である。	内 容	
		3. 濁水、湧水等の処理で特別の対策を必要とする。	処理施設 処理条件等	
		4. 工事の施工に伴って発生する騒音、振動、地盤沈下、地下水の枯渇等、電波障害等に起因する事業損失が懸念される。	事前・事後調査の区分 調査時期 未然に防止するための調査方法 範 囲	
安全対策関係		1. 交通安全施設等を指定する。	内容・期間	
		2. 鉄道、ガス、電気、電話、水道等の施設と近接する工事で施工方法、作業時間等に制限がある。	内 容	
		3. 落石、雪崩、土砂崩落等に対する防護施設が必要である。	内 容	
	○	4. 交通誘導警備員、警戒船及び発破作業等の保安設備及び保安要員の配置を指定する、又は発破作業等に制限がある。	内 容	別紙のとおり 仮設-8
		5. 有毒ガス及び酸素欠乏等の対策として、換気設備等が必要である。	内 容	
工事用道路関係	○	1. 一般道路を搬入路として使用する。 (1) 工事用資材等の搬入経路、使用期間、使用時間帯等に制限がある。	経 路 期 間 時間帯等	一般車両の支障とならないよう処置する。
	○	(2) 搬入路の使用後及び使用後の処置が必要である。	処置内容	現況機能を維持
		2. 仮設道路を設置する。 (1) 仮設道路に関する安全施設等が必要である。	内容・期間	
	○	(2) 仮設道路の工事終了後の処置（存置又は撤去） (3) 仮設道路の維持及び補修が必要である。	処 置 内 容	敷砂利存置
仮設備関係		1. 仮土留、仮橋、足場等の仮設物を他の工事に引き渡す又は、引き継いで使用する。	内容・期間・条件	
		2. 仮設備の構造及びその施工方法を指定する。	構 造 施 工 方 法	
		3. 仮設備の設計条件を指定する。	内 容	

明示事項	該当 ○印	明 示 事 項	施 工 条 件
建設副産物関係	○	1. 建設発生土が発生する。	処分及び保管条件 仮置場所までの距離 仮置場所までの時間
		2. 建設副産物の現場内での再利用、減量化が必要である。	内 容
	○	3. 建設副産物及び建設廃棄物が発生する。	処理方法 処理場所等の条件方法
		4. 再資源化処理施設又は最終処分場を指定する。	受入場所 距離 時間帯等
工事支障物件等		1. 地上、地下への占用物件の有無、及び占用物件等で工事支障物が存在する。	支障物件名 管理者 位地・移設時期 工事方法・防護等
		2. 地上、地下等の占用物件工事と重複して施工する。	工事内容 期間等
薬液注入関係		1. 薬液注入を行う場合。	工法区分、材料種類 施工範囲、削孔数量 注入量等
その他		1. 工事用資材等の保管が必要である。	保 管 場 所 期 間 等
		2. 工事現場発生品がある。	品名、数量、現場内での 使用の有無、納入場所
		3. 支給材料及び貸与品がある。	品名、数量、品質、規 格又は性能、引渡場 所、引渡時期等
		4. 工事用電力等を指定する。	内 容
		5. 営農上必要とする通路の確保がある。	構造、規格、施工範囲
		6. 仮畦畔等の設置が必要である。	構造、規格、施工範囲
		7. 一般車両は通行止めとして工事の施工を行う。	
	○	8. 耕作者及び関係者等に工事区間の通行を許可する。	
		9. 片側交互通行として施工を行う。	施 工 範 囲
		10. 新技術・新工法・特許工法を指定する工種がある。	工法名称、施工場所 施工条件、NETIS番号



3. 施工条件明示（別紙） 未処理の用地・協議及び埋設物等の扱いについて

「共通3. 施工条件明示」の工程関係、用地関係で該当している未成立事項及び埋設物等の扱いについては以下のとおりである。用地処理以外の項目の協議成立時期、施工方法等については、監督職員と詳細に打ち合わせて工事を進めること。また、下記項目の調整等の結果により工事内容を変更する場合がある。

下表に示す未契約用地区間又は区域については、用地処理が完了するまで施工してはならない。なお、契約の成立については、監督職員から文書（様式9号）により通知する。

該当○印	項 目		内 容	
	隣接工事	隣接工事名	〇〇地区 〇〇〇〇工区工事	
		工期	令和 年 月 中旬 ~ 令和 年 月 月上旬	
		測点		
		影響箇所及び工事の内容		
		影響時期	令和 年 月 中旬 ~ 令和 年 月 下旬	
	協議	協議名		
		協議箇所		
		協議内容		
		協議成立見込時期	令和 年 月 下旬	
	用地処理	買収地	測点	延長（面積） 延長（面積）
			交渉相手	
			処理見込時期	令和 年 月 中旬
		使用地	測点	延長（面積） 延長（面積）
			交渉相手	
			処理見込時期	令和 年 月
	地下埋設物埋蔵文化財	埋設物件名・埋蔵文化財名	〇〇地区水道管 〇〇遺跡等	
		埋設（埋蔵）位置	別添位置図のとおり	
		調査期間	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日	
		施工条件		
	工事支障物件	支障物件名	北電柱 NTT柱	
		支障物件位置	別添位置図のとおり	
		移設時期	令和 年 月	
		施工方法等		



4. 関連資料

- (1) 本工事の契約後、施工において必要となる横断図・用地図・参考図等は、芽室町役場農林課土地改良係 で閲覧あるいは借用できる。



余裕期間制度活用工事（任意着手方式）

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、発注者が示した工事着手期限までの間で、受注者は工事の始期を任意に設定することができる。

1. 主任技術者等の専任期間

- (1) 契約締結日の翌日から工事の始期まで期間については、主任技術者又は監理技術者の設置を要しない。
 - (2) 契約締結日の翌日から現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、発注者と受注者の間で書面により明確にした場合に限って、主任技術者又は監理技術者の工事現場での専任は要しない。
 - (3) 工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続後、後片付け等のみが残っている期間については、発注者と受注者の間で書面により明確にした場合に限って、主任技術者又は監理技術者の工事現場での専任を要しない。
- なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日（例：「完成通知書」等における日付）とする。

2. 工期

受注者は契約を締結するまでの間に、別記様式1により工事の始期を通知すること。

余裕期間内は、主任技術者又は監理技術者を設置することを要しない。また、現場に搬入しない資材等の準備を行うことができるが、資材の搬入、仮設物の設置等、工事の着手を行ってはならない。なお、余裕期間内に行う準備は受注者の責により行うものとする。

工 期：工事の始期から183日間

（但し、令和6年11月1日（工事着手期限）までに工事を開始すること）

※契約締結後において、工事の始期の変更の必要が生じた場合は、監督職員と協議の上、工期に係る契約を変更することにより、工事に着手することができるものとする。

なお、低入札価格調査等により、上記の工事着手期限以降に契約締結となった場合には、余裕期間を設定することはできず工事着手期限から〇〇〇日間で工事を完了させること。

3. CORINSへの登録

技術者の従事期間は、工期をもって登録するものとする。（余裕期間を含まないことに留意するものとする。）

4. 積算上の工期について

積算上の工期については、設計変更時、受注者から提出される工期通知書等に記載の工事の始期からの期間に置き換えて施工時期補正を行う。また、防寒（寒中コンクリートの養生費）、除雪等の費用については、必要と認められる部分に対して契約変更する。



監理技術者等の専任期間

1. 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。
なお、現場施工に着手する日については、請負契約の締結後、監督職員との打合せにおいて定める。
2. 現場への専任の期間については、契約工期が基本となるが、契約工期内であっても、工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く）事務手続き、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。
なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日（「検査結果通知書」における日付）とする。



新土木工事積算システムによる積算方式

1. 本工事は、農林水産省土地改良工事積算基準（土木工事）による施工パッケージ型積算方式で行う工事である。
なお、下表の名称単価のうち、適用欄に『○』のついている単価は、国交省施工パッケージ単価を使用し積算を行っている。

No	名称	適用	No	名称	適用
1	現場発生品・支給品運搬	○	21	クラック補修	
2	掘削（ICT）		22	注入材（材料費）	
3	埋戻し	○	23	側溝清掃（人力清掃工）	
4	タンバ締固め		24	枿清掃（人力清掃工）	
5	路体（築堤）盛土（ICT）		25	ガードレール復旧	
6	路床盛土（ICT）		26	ガードパイプ復旧	
7	法面整形（ICT）		27	コンクリート削孔（さく岩機）	
8	PC管		28	プレキャスト集水枿	
9	鉄筋コンクリート台付管		29	橋名板取付	
10	安定シート・ネット		30	橋梁用高欄	
11	コンクリート削孔（電動ハンマドリル38mm）		31	路面切削	
12	コンクリート削孔（コンクリート穿孔機）		32	殻運搬（路面切削）	
13	現場取卸（鋼管杭）		33	クラック防止シート張	
14	函渠		34	クラック防止シート（材料費）	
15	かごマット設置（スロープ型）		35	現場取卸（鋼桁）	
16	袋詰玉石		36	現場取卸（PC桁）	
17	ボーリング				
18	保孔管				
19	ボーリング仮設機材				
20	足場（地表）				



工 事 期 間

1. 工期は、休日及び平年並の雨天日等を見込んでいる。なお、休日は工期内の日曜日、土曜日、祝日、夏季休暇、及び年末年始休暇を含んでいる。



概 略 数 量

1. 概略数量の取扱い
 - (1) 公示用設計書の数量総括表の摘要欄に「概」、「概」、「概）」等と示した細別などの数量は、概略計算により算出したもので、設計変更で精算する。



監 督 職 員 が 不 適 切 な 指 示 を し た 場 合 の 対 応

1. 受注者は、監督職員がその職務の執行につき著しく不相当と認められるときは、監督職員を経由せずに、(分任)支出負担行為担当官に対して、その理由を明示した書面により、必要な措置をとるべき事を請求することが出来る。



精 査 積 算 方 式 の 試 行

1. 精査積算方式について
 - (1) 本工事は、不可視部分の施工に関する仮設工において、設計内容との差違が生じ、再設計を行う必要がある場合は、受注者が現場条件に適した合理的な仮設設計を行い、その内容を精査した上で採用する試行工事である。ただし、指定仮設については、本方式の対象外とする。
 - (2) 仮設設計の再設計に要した費用及び施工に要した費用は、設計変更を行う場合がある。



CALS/EC 電子納品

1. 対象工事と適用図書類

- (1) 本工事は、電子納品対象とする。
- (2) 電子納品の適用にあたっては、「北海道開発局における電子納品に関する手引き（案）【工事編】」、「発注者が定める工事・業務の案件番号、発注者コード」（北海道開発局CALS/ECサイトにて公開）を参考にするものとする。

掲載HPアドレス

<https://www.hkd.ml.it.go.jp/ky/jg/gi.jyutu/ud49g7000000il7t.html>

- (3) その他要領・基準類は、下記によるものとする。

農業農村整備事業の電子納品要領等（農林水産省ホームページにて公開）

- | | | | |
|-------------------|--------|---|---|
| ・土木関係の電子納品要領等 | 掲載アドレス | → | http://www.maff.go.jp/j/nousin/seko/nouhin_youryou/doboku.html |
| ・電気通信設備関係の電子納品要領等 | 掲載アドレス | → | http://www.maff.go.jp/j/nousin/seko/nouhin_youryou/denki.html |
| ・機械設備関係の電子納品要領等 | 掲載アドレス | → | http://www.maff.go.jp/j/nousin/seko/nouhin_youryou/kikai.html |

2. 提出媒体など

- (1) 工事成果品は、CD-R又はDVD-Rにて正本1部、副本1部を納品すること。
- (2) 電子成果品の納品に当たり、「電子納品チェックシステム（農林水産省農業農村整備事業版）の最新版をWebサイトから入手し、エラーがないことを確認後、ウイルスチェックを行い、納品すること。
チェックシステム掲載HPアドレス → http://www.maff.go.jp/j/nousin/seko/nouhin_youryou/densi.html

3. 設計図について

- (1) 設計図については「CAD製図基準（案）」を基本とするが、それによりがたい場合（同基準が適用できる設計図書が存在しない場合）は、監督職員と打合せの上、決定すること。



工 事 事 故 防 止 対 策

1. 受注者は、架空線等上空施設の位置及び占有者を把握するため、工事現場、土取場、建設発生土の受け入れ地、資材置き場等、工事に関わる全ての架空線等上空施設の現地調査（場所、種類、高さ等）を行い、その調査結果について、支障物件の有無に関わらず、監督職員へ報告しなければならない。
2. 受注者は、水道管等の埋設物が予想される場所で施工する場合は、施工に先立ち管理台帳等に基づいて試掘を行い、その埋設物の位置（平面・深さ）、規格、構造等を目視により確認し、その調査結果について監督職員へ報告しなければならない。
なお、監督職員と協議を行い、試掘に要した費用について設計変更にて計上する場合がある。



工 事 中 安 全 管 理

1. 受注者は、工事箇所及びその周辺にある地上地下の既設構造物に対し、支障を及ぼさないように防護工事等必要な措置を講じなければならない。特に、架空線等上空施設の下を通過する箇所には、高さ制限を確認するための安全対策施設（簡易ゲート）を設置するとともに、重機等の横断に際しては、必要に応じて誘導員を配置し、誘導指示を行わなければならない。
なお、安全対策施設設置の詳細については、施工前に監督職員の承諾を得なければならない。

UAV等を使用する際の安全面への配慮について

○

受注者は、起工測量等においてUAV等を使用する場合、安全面への配慮として「公共測量におけるUAVの使用に関する安全基準（案）」（国土地理院・平成28年3月）に基づいてUAV等を使用すること。

無人航空機を使用する際の情報流出防止策

○

1. 本工事において、無人航空機を使用する場合には、以下に掲げるような情報流出防止策を講じること。ただし、本工事が「政府機関等における無人航空機の調達等に関する方針について」（令和2年9月14日、関係省庁申合せ）に示す重要業務に該当しないことが明らかであって、工事の性質に応じて当該策を講じることが困難な場合、監督職員と協議の上、可能な限りの策を講じた上で、当該策を講じないことができるものとする。
 - (1) インターネットへの接続については、ソフトウェアアップデート等に必要な最小限度とし、飛行中は接続しない。
 - (2) インターネットに接続する場合も、データが流出しないよう、撮影動画等のクラウドへの保存機能を停止する、機体内部や外部電磁的
2. 前項の情報流出防止策によって工事の実施等に支障が生じる恐れがある場合は、監督職員と協議すること。

週休2日による施工（受注者希望方式）



1. 本工事は、週休2日による施工の対象工事である。
2. 受注者は、週休2日の施工を行う希望がある場合、工事着手前に発注者に対して週休2日に取り組む旨の協議を行い、協議が整った場合に週休2日での施工を行うことができる。
3. 週休2日とは、対象期間において、土日・祝日に関わらず、週休2日（4週8休）以上の現場閉所を行ったと認められる状態をいう。
4. 対象期間は、工事着手日から工事完成日までの期間をいう。なお、年末年始6日間、夏期休暇3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外としている内容に該当する期間（受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間など）は含まない。
5. 現場閉所とは、巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での事務作業を含めて1日を通して現場事務所が閉所された状態をいう。
6. 週休2日（4週8休）以上とは、対象期間内の現場閉所日数の割合（以下、「現場閉所率」という。）が28.5%（8日/28日）以上の水準に達する状態をいう。なお、降雨、降雪等による予定外の現場閉所日についても、現場閉所日数に含めるものとする。
7. 積算方法等
現場の閉所状況に応じて、以下の補正係数を、労務費、機械経費（賃料）、共通仮設費率、現場管理費率に乗じる。市場単価方式についても、現場の閉所状況に応じて補正係数を乗じるものとする。なお、その他労務費分が明らかとなっていない単価等については、補正の対象としない。

（1） 現場の閉所状況

- | | |
|----------------|-------------------------------|
| ① 4週8休以上 | 現場閉所率が28.5%（8日/28日）以上の場合 |
| ② 4週7休以上4週8休未満 | 現場閉所率が25%（7日/28日）以上28.5%未満の場合 |
| ③ 4週6休以上4週7休未満 | 現場閉所率が21.4%（6日/28日）以上25%未満の場合 |

（2） 補正方法

当初予定価格から4週8休以上の達成を前提とした補正係数を各経費に乗じている。

なお、現場閉所の達成状況を確認後、4週8休に満たないもの及び、工事着手前に週休2日に取り組むことについて協議が整わなかったもの（受注者が週休2日の取組を希望しないものを含む）については、現場閉所の達成状況に応じて契約書第25条の規程に基づき請負代金額を減額変更する。

《補正係数》

	現場の閉所状況		
	4週6休以上 4週7休未満	4週7休以上 4週8休未満	4週8休以上
労務費	1.01	1.03	1.05
機械経費（賃料）	1.01	1.03	1.04
共通仮設費率	1.02	1.03	1.04
現場管理費率	1.03	1.04	1.06

市場単価方式の週休2日補正係数は、下記ホームページによる。

URL: <https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/jg/gijyutu/splaat000001ezmd.html>

※ただし、土木工事積算基準書参考資料（道路部門）の市場単価である下記2工種は補正の対象とならない。

法面工

- ・ 法面植生工（種子吹付工） [市場単価]
- ・ 植生基材吹付工（土砂系） [市場単価]

8. 週休2日（4週8休）以上の実施の確認方法は、次によるものとする。
 - （1） 受注者は、週休2日の実施計画書を作成し発注者へ提出する。
 - （2） 受注者は、実施結果を定期的に発注者へ報告する。
 - （3） 報告の様式及び時期は、受注者と発注者と協議して定める。
9. 週休2日の実施状況について、発注者が必要に応じて聞き取り等の確認を行う場合には、受注者は協力するものとする。
10. 週休2日による施工について、発注者又は第三者によるアンケート調査が行われる場合には受注者は協力するものとする。

新型コロナウイルス感染症に伴う工事で使用する資材等の納期への影響に対する対応について

○

新型コロナウイルス感染症に伴い、工事で使用する資材、機材及び機器類の納期に影響が生じることを理由に、工期内に工事が完成できないとして、受注者から工期延長の請求があった場合には、工事請負契約書の規定により協議に応じるものとする。また、同様の理由により必要であると認めるときは、工事の一時中止等の適切な措置を行うものとする。

工事における新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策に係る設計変更について

○

1. 新型コロナウイルス感染症において、追加で費用を要する感染拡大防止対策を実施する場合には、設計変更において計上することがあるの
で、受注後すみやかに監督職員と協議を行うこと。
2. 協議の結果、設計変更が必要と認められた場合は以下のとおりとする。
 - ・ 受注者は実施計画書を作成し、監督職員に提出するものとする。
 - ・ 最終精算変更時点において、変更実施計画書及び実際に支払ったすべての証明書類（領収書、領収書の出ないものは金額の適切性を証明する金額計算書等）を監督職員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。
 - ・ 受注者の責めによる工事工程の遅れ等受注者の責めに帰すべき事由による増加費用については、設計変更の対象としない。
 - ・ 受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合については、法的措置及び指名停止等の措置を行う場合がある。

北海道インフラゼロカーボン試行工事について



1. 試行の実施について

本工事は、受注者の発案によるカーボンニュートラルに資する取り組みを推進する「北海道インフラゼロカーボン」の試行対象工事である。

2. 試行の内容について

工事契約後、受注者は、当該工事において、カーボンニュートラルに資する取組を発案し実施することができる。

本取組を実施する場合は、施工計画書に「北海道インフラゼロカーボン」の項目を設け、①取組の内容、②期待される効果等を明記するものとし、完成検査までに実施内容及び効果を報告するものとする。また、期待される効果等については、CO2排出（吸収）量等の定量的な効果を記載できる場合は記載することとする。

3. 工事成績評定について

施工計画書で位置づけられた「北海道インフラゼロカーボン試行工事」の取組の履行が確認できた場合は加点を行うこととする。

4. 試行の費用について

本試行に係る費用については、原則、受注者負担によるものとする。

一 般

1. 支給材料は、次表の通りとする。なお、支給品の引渡時期は、監督職員と協議すること。

名 称	規 格	単 位	数 量	引渡場所	引渡時期

2. 本工事により発生した材料（土砂を除く。）のうち、下表に示した材料は、監督職員の確認を受けること。

品 名	規 格	単 位	数 量	現場での使用の有無	備 考

- (1) 上記材料の所有権は、発注者に帰属するものである。
- (2) 受注者は、現場発生品調書を作成し、監督職員に提出すること。
- (3) (2) の処理後に指定する工事に引き渡すことがある。なお、指定する工事は下表に示す。

品 名	規 格	単 位	数 量	工 事 名

3. 工事施工中は第三者が利用している 町道及び耕作道路 がその機能を失わないように措置を講じること。

建設副産物適正処理推進要綱に基づく適正処理

○ 1. 建設発生土について

本工事及び他工事で発生する建設発生土については、資源の有効利用を図るため、「建設副産物適正処理推進要綱」に基づき以下のように取り扱うこと。

(1) 本工事及び他の工事の施工により発生する建設発生土は、下記による。

種 別 利用場所等	現 場 内 利 用	他の工事現場利用	一 時 保 管
現 場 内 利 用 場 所	当現場敷地内		
搬 出 工 事 場 所			
搬 入 工 事 場 所			
一 時 保 管 場 所			
利 用 (保 管) 土 量	m^3	m^3	m^3

(2) 工事発注後、上記の指定により難しいときは、変更する場合がある。

(3) 一時保管を行う場合は、飛散、流出、地下浸透、悪臭発散防止の処置、周囲に囲いを設け他の廃棄物が混入しない処置、保管場所であることの表示（目的、種類、期間、責任者の明示）、車輛出入口は施錠するなどして第三者の出入り防止処置、周囲の環境に配慮した管理等を行うこと（事業場から運搬されるまでの保管を除く）。

なお、看板表示内容に変更が生じた場合は、監督職員の指示に基づき訂正すること。



4. コンクリート塊の発生について

本工事で発生する建設副産物のコンクリート塊については、資源の有効利用と廃棄物の発生抑制を図るため、「建設副産物適正処理推進要綱」に基づき、以下のように取り扱うこと。

- (1) 本工事で発生するコンクリート塊については、下記のとおりとする。
なお、当該内容の変更については、監督職員と協議するものとする。

	現地再資源化	再生資源化施設	一時保管
搬出場所		芽室町東芽室北1線18	
施設名等		高嶋コンクリート工業	
処理施設許可番号		第00120008425号	
受入時間			
数量	t	設計図書による	t
適用			

- (2) 再資源化施設に搬入するコンクリート塊は、各施設の受入れ基準を満たす規格(30cm以下に破碎するなど)で搬出すること。なお、受入施設の受入れ条件は事前に確認すること。

② 再資源化等をする施設の名称及び所在地

特定建設資材廃棄物の種類	施設の種類	所在地	摘要
コンクリート塊	高嶋コンクリート工業	芽室町東芽室北1線18	コンクリート塊（一般-5）を参照のこと

※上記②については積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。

なお、受注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。

ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。

- (2) 受注者は、特定建設資材の分別解体等・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条に基づき、以下の事項を書面に記載し、監督職員に報告することとする。

なお、書面は、「建設リサイクルガイドライン(平成14年5月)」に定めた様式1〔再生資源利用計画書(実施書)〕及び様式2〔再生資源利用促進計画書(実施書)〕を兼ねるものとする。

- ・再資源化等が完了した年月日
- ・再資源化等をした施設の名称及び所在地
- ・再資源化等に要した費用

- (3) 本工場の元請業者は、工事着手前に「建設リサイクル法」第11条の通知に係る別表イ、ロ様式「再生資源利用(促進)計画書」を監督職員に提出しなければならない。

この別表イ、ロ様式「再生資源利用(促進)計画書」は、「建設副産物に係る情報入力システム(COBRI S入力システム)」を活用し作成しなければならない。

提出はPDF形式のデータあるいは印刷物とする。

- (4) 受注者は、施工計画作成時、工事完了及び登録情報の変更が生じた場合は、速やかに「建設副産物に係る情報入力システム(COBRI S入力システム)」にデータの入力を行い、PDF形式のデータあるいは印刷物を提出しなければならない。

建設リサイクル法第11条通知に係る運用について



5. 建設リサイクル法第11条通知完了連絡書の送付

受注者は、「建設機械に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第104号）第11条に基づく、都道府県知事に対する通知を行った旨の書類を監督職員より受領した後に、工事着手（建設リサイクル法第10条第1項規定する工事着手をいう。）するものとする。
なお、これによりがたい場合は監督職員と協議の上決定するものとする。



完 成 平 面 図 等

1. 完成平面図は、下記の通り作成すること。

	作成区間	SP=	0.00	~SP=	30.00	L=	30.00	m
		SP=		~SP=		L=		
○	CAD図面作成							

- (1) 出来形完成平面図のIP及び敷地境界杭は、座標値を表示すること。
- (2) 提出は、CADデータとする。
- (3) 記載方法及び事項は、監督職員と打合せること。

2. 工事完成図
作成図面については監督職員と打ち合わせること。



設 計 変 更 図 書 作 成

1. 本工事では、設計変更図書の作成（設計変更図の作成及び数量の算出）を受注者に行わせることがある。
2. この場合の図面及び数量計算は、監督職員の指示により行うが、指示事項（作成枚数、設計内容等）は設計変更指示書で確認する。
3. 図面の作成及び数量の算出に当たっては、発注者が貸与する「農業土木工事標準設計図集」及び北海道開発局HP掲載の「農業土木工事数量算出要領（案）」によることを原則とする。
4. 図面は、電子化図面データの作成要領（案）及び、CAD製図基準（案）に基づき作成することを原則とする。
なお、監督職員との打合せにより、電子データによらないで作成する場合は、マイラー原図に鉛筆トレースで作成すること。
5. 図面は電子データによる場合は、電子媒体での提出とすること。また、鉛筆トレースで作成する図面及び数量計算書は、原図及び原稿を提出すること。なお、電子媒体、図面及び数量計算用の用紙は全て官給とする。
6. 上記に要した費用は設計変更で精算する。

資 材 一 般



1. 日本工業規格（JIS）の資材は、施工計画書の「主要資材」で資材名、購入社名等を明らかにすること。また、日本工業規格（JIS）以外の資材は、カタログ等により形状、寸法、品質規格を明らかにし監督職員の承諾を受けた後に使用すること。



2. JIS規格品について、平成20年10月1日以降は、改正工業標準化法（平成16年6月9日）に基づき国に登録された民間の第三者機関（登録認証機関）により認証を受けた工場（いわゆる新JIS認証工場）で製造されたものを使用すること。

鉄 筋



1. 鉄筋は、使用前にミルシート又はメーカー表示ラベルと異形棒鋼の形状規格が判断できる写真を監督職員に提出し、承諾を得ること。

鋼 矢 板



1. 本工事（仮設工事は除く）で鋼矢板を使用する場合は、JIS A5523-SYW295もしくはSYW390を用いることを標準とする。

木 材



1. 受注者は、設計図書に木材使用について指定されている場合にはこれに従うものとし、任意仮設等においても木材利用の促進に留意しなければならない。



2. 鉄筋コンクリート管

本工事で使用するパイプカルバートの管種記号及び継手は下記による。

- (1) パイプカルバートの管種記号は鉄筋コンクリート管はRC管、遠心力鉄筋コンクリート管はHP管、コア式プレストレストコンクリート管はPC管とする。
- (2) 鉄筋コンクリート管1種管及び2種管の接合はゴムリングによる接合を標準とし、これ以外の接合方法は監督職員の承諾を得ること。



3. 鉄筋コンクリートU型側溝

- (1) 鉄筋コンクリートU形側溝（L=2,000mm）の曲げ強さは下表に示す曲げ強さ荷重以上であること。
なお、曲げ強さ荷重とは曲げ試験を行った場合、ひび割れが初めて生じたときの試験機が示す荷重をいう。

呼び名	スパン L mm	曲げ強さ荷重 kN
150	110	4.4
180	140	4.8
240	190	5.3
300A	250	5.7
300B	250	5.7
300C	250	6.7
360A	310	5.3
360B	310	5.3
450	380	5.3
600	550	4.8

- (2) 曲げ強さ試験の規格値以外はJIS-A5372によること。
- (3) 鉄筋コンクリートU形側溝の目地はモルタル構造を標準とする。これ以外の構造の使用は監督職員の承諾を得ること。

仮 設

1. 工事用道路

(1) 既設道路の利用 [仮設道路] (任意仮設)

- ① 既設道路を使用する場合は、一般交通に支障を与えないように安全管理を徹底し使用すること。なお、受注者は必要に応じ補修して使用すること。
- ② 本工事では、既設道路の利用区間を下表のとおり想定している。工事期間中の道路の施工及び補修方法については、仮設計画図を作成し、事前に監督職員の確認を得ること。

	位 置	別紙図示の箇所		延 長	No. + ~No. + L = m
	路 線 名			構 造 ・ 規 格	砂利道、舗装道

(2) 新設道路及び迂回道路 (指定仮設)

- ① 道路の位置、構造、規模、延長等については下表のとおりとする。ただし、地先関係者等との協議や現場条件等を勘案し、発注者及び受注者協議により、工事用道路の位置、構造、規模、延長等を設計変更する場合がある。

	位 置	別紙図示の箇所		盛 土 材	流用土、火山灰土、t = mm以上
	延 長	No. + ~No. + L = m		舗 装 工	細粒度ギャップアスコン cm以上 アスファルト安定処理 cm以上
	幅 員	B = m以上		平面図・構造図	別添図面参照
	路 盤 構 造	切込砂利、切込碎石40mm級、t = mm以上 敷鉄板 厚さ mm以上		待避所区間	幅員 m以上、延長 m以上、ヶ所

- ② 道路の線形、縦・横断勾配については、仮設計画図を作成し事前に監督職員の確認を得ること。また、場合により盛土材の使用量を把握するための方法を監督職員と協議すること。

- ③ 既設道路のうち、下記に示す区間においては、○○○○○の理由により防塵対策することを標準とする。
ただし、現場条件等を勘案し、発注者及び受注者協議により防塵対策区間、防塵対策方法を設計変更する場合がある。

位 置	別紙図示の箇所
延 長	No. + ~No. + L = m
幅 員	B = m以上
構造、材料等	

- ④ 工事後、工事用道路を設置した場所については、監督職員の指示がある場合を除き、原形に復旧することとする。
そのため、着工前、復旧後に横断図等により監督職員の確認を得ること。

- ⑤ 上記①②④の結果によっては、発注者及び受注者協議により盛土材の量等を設計変更する場合がある。

(3) 新設道路（任意仮設）

- ① 指定仮設以外に仮設道路を新設する場合は、仮設計画図を作成し事前に監督職員の確認を得ること。

- ② なお、関係機関との協議や現場条件（トラフィカビリティ等現地調査結果）等により、仮設道路の位置や構造等を定める必要がある場合には、発注者及び受注者協議により設計変更する場合がある。

- ③ 本工事では、新設道路（任意仮設）区間を下記のとおり想定している。

位 置	
延 長	
幅 員	
構 造	
備 考	

位 置	
延 長	
幅 員	
構 造	
備 考	

(2) 仮締切（指定仮設）

仮締切の設計条件、延長等については下表の通りとする。ただし、現場条件等を勘案し、発注者及び受注者協議により設計変更する場合がある。

仮締切設置位置	別添図示の箇所
仮締切対象区間	N00+00~N00+00
仮締切標高	〇〇地点 EL= m
仮締切構造	大型土のう、鋼矢板（〇型L= m）

(3) 任意仮設：仮排水施設の規模は _____ m³/s 以上の通水能力を有すること。

6. 水替工

(1) 水路工の施工区間内における排水量は、施工延長 m 当たり m³/hr を想定している。

(2) 本線の施工区間内における排水は、作業時排水が現地状況により、常時排水で設計変更する場合がある。

(3) 施工区間内の水替については、監督員等と協議すること。なお、結果により設計変更で計上する場合がある。

7. 汚濁処理施設

施工に当たっては汚濁水処理施設を設置すること。設置前に図面等により処理方法について、監督職員の承諾を受けること。

8. 工事施工に関わる仮設費用のうち、土質条件、排水等において当初予測し得なかった事態が生じ、かつその対策が必要となった場合は、設計変更により措置することがある。

保安施設工

1. 工事中の保安施設は任意仮設とし、「道路河川工事仕様書」に示す付表「道路工事保安施設設置基準（案）」に準じる。

2. 保安施設は、工事区間の全区間を同時に設置すること。

交通誘導警備員の配置

1. 工事期間中は、公衆に供する道路を使用する場合、有能な交通誘導警備員を配置し、現場内における安全確保に努めること。

2. 本工事における交通誘導警備員は、発生土搬出時に施工区域出入口1名を設置すること。
ただし、交通状況等を勘案し、発注者及び受注者協議により、設置位置、人数を変更する場合がある。

3. 本工事で交通誘導警備員を配置する路線は、国家公安委員会認定外道路である。

4. 本工事において、交通誘導警備員を計上している箇所以外で交通状況等により交通誘導警備員が必要とされる場合は、監督職員と協議すること。なお、結果により設計変更で計上する場合がある。

除 雪 工



1. 除雪作業

(1) 除雪作業区間

工事用道路除雪区間 工事用道路測点：S_p = _____ ~ S_p = _____ (延長 _____ m)

作業現場内除雪区間 工事測点：S_p = _____ ~ S_p = _____ (延長 _____ m)

実作業延長及び面積は、契約の工期における妥当な行程で、実際に除雪が必要と認められた範囲は精算変更する。



(2) 本工事は上記の区間について、のべ _____ 回の除雪を計上している。これについては下記 2. の基準に基づき設計変更する。



(3) 本工事は上記の区間を除雪区間として想定しているが、当初設計においては除雪は未計上である。除雪が必要と認められた場合は、上記 (1) 及び下記 2. の基準に基づき設計変更で計上する。



2. 除雪基準及び管理方法

(1) 除雪の基準

- ① 降雪量が10cm以上に達したとき必要に応じて除雪すること。
- ② ①に定める基準のほか、現地状況等により必要と判断されたとき。

(2) 排雪

作業現場内の除雪により堆積した雪を排雪する必要がある場合は、別紙位置に運搬排雪することとする。運搬排雪の必要性については、監督職員と協議のうえ判断することとする。

(3) 積雪及び降雪量の確認

除雪区間の中間点付近に雪標を設け、積雪量及び降雪量を計り、除雪作業日報に記入すること。
積雪及び降雪量確認写真撮影を機械除雪は出勤4回に1回、人力除雪は出勤3回に1回程度行うこと。

(4) 写真管理

種 別	区 分	撮 影 基 準
機械除雪	工事状況写真 出来高管理確認写真	出勤4回に1回程度 作業前、作業中、作業後が判明できるように、作業別に順序をおって進捗状況がわかるように撮影する。(作業後は区間全体が把握できるように撮影する。)
人力除雪	工事状況写真 出来高管理確認写真	出勤3回に1回程度 作業前、作業中、作業後が判明できるように、作業別に順序をおって進捗状況がわかるように撮影する。(作業後は区間全体が把握できるように撮影する。)

工 事 用 地 等

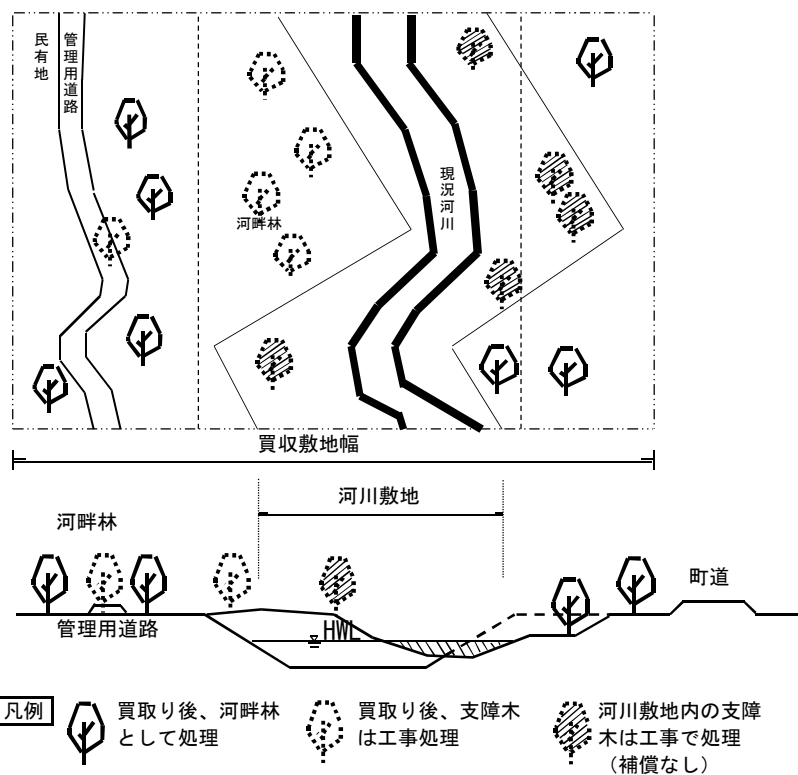
- 1. 発注者が確保している用地
 発注者が確保している工事用地等の範囲は、監督職員と打合せること。
- 2. 発注者が確保している工事用地以外で施工上必要な用地は、受注者の責任において確保すること。
 ただし、保安林指定等がかかっている場合があり、その場合事前の手続きが必要となるので留意すること。
 (なお隣接する保安林については参考図のとおり)
- 3. 工事用地等の使用及び返還
 発注者が確保している工事用地等は、受注者が工事施工に先立ち監督職員立会の上、用地境界、使用等の確認を行うこと。
 また、工事施工後用地の返還は、使用条件に基づき受注者が必要な措置を講じた後、発注者に通知すること。
 なお、発注者が所有者に返還する際には、立会すること。

- 4. 用地境界杭
 - (1) 用地境界には、農業土木工事仕様書に定める規格のコンクリート標柱を埋設する。設置位置は、用地図に示すが、用地図は○○事業所で閲覧ができる。
 - (2) 障害物等により所定の深さに設置が出来ない場合は監督職員の指示による。

- 5. 地下埋設物等の処理
 地下埋設物等で工事に係るものは、受注者が関係者と連絡調整し適切な処理を行うとともに、結果を監督職員に報告すること。なお、施設(地下埋設物等)の移設及び復旧等で、予期し得ないことが発生し、監督職員が必要と判断した場合は、設計変更することがある。

- 6. 排水路工事の河畔林等の伐採について
 - (1) 河畔林等立木の伐採や存置は、工事着手前に監督職員と協議すること。なお、これに要する費用は、設計変更することがある。
 - (2) 水辺環境や生態系の保全から河畔林は、極力存置するよう考慮すると共に、産業廃棄物の発生を抑制すること。

※排水路等工事における河畔林処理イメージ図(参考)



土 工 共 通

1. 伐開幅は用地幅以内とし、環境保全等を目的とする樹木等の扱いは監督職員の指示によること。
2. 伐開作業は、監督職員の指示があるまで着手しないこと。
3. 施工基面付近を掘削する際は、過掘をしないこと。なお、過掘が生じた場合は、受注者の責により掘削前の地盤と同程度まで補強すること。
4. 構造物と接する部分の盛土及び埋戻しは、良質な土砂または材料（レキ、レキ質土、岩砕、砂等）で施工すること。また、裏込め及び埋戻し材料は、ブルドーザまたは人力などにより平坦に敷き均しを行い、ダンプトラックあるいはブルドーザ等による高撒きはしないこと。
5. 土砂類の搬出及び受け入れは、監督職員及び関係者と事前協議を十分に行い、工程に支障を生じさせないこと。
6. 採取盛土は、別添「箇所図」の指定した場所から採取すること。採取に当たり事前に監督職員と打合せて採取場所を確認すること。
7. 本工事により生じた発生土は、別添箇所図の指定した場所へ運搬整理すること。
8. 「農業土木工事仕様書」に明記されていない土及び岩の分類と表示記号は下表の通りとする。

土質及び岩種	表示記号	備 考
火 山 灰 土	K	
岩 塊 玉 石	RT	
軟 岩 I	WR1	
軟 岩 II	WR2	

土質及び岩種	表示記号	備 考
中 硬 岩	MR	
硬 岩 I	HR1	
硬 岩 II	HR2	

9. 表土扱い
 - (1) 工事用地のうち水田、畑地、採草地については事前に表土はぎを行うこと。表土はぎ後の表土の保護は、ブルーシート等で行うこと。なお、表土及び下層土等の堆積の形状や位置については、監督職員と打ち合わせること。
 - (2) 表土はぎの範囲（地盤高、表土厚）及び表土の現況（下層土の位置、雑物、石礫、不良土の混入状況）は監督職員、地権者、受注者の立会を得て、測点100m毎に測定（写真撮影）すること。
 - (3) 表土戻しは、営農に支障となるような過転圧をしてはならない。また、凍結時期（または冬季）での施工は、地権者、監督職員と十分協議を行い、方法等を検討すること。
 - (4) 表土戻しは、地権者の立会いの上で施工すること。
 - (5) 本工事の表土厚は平均 cmで計上しているが、表土厚の測定結果により設計変更する場合がある。
10. 掘削断面内に予期しない不良土や埋設物等があった場合は、掘削工法について監督職員と協議すること。これにより工事量等に増減が生じた場合及び土質に変更があった場合は、設計変更することがある。



11. 明渠排水路土工

~~(1) 発生土均しは、原則として横断図によるが、近傍に旧河川がある場合及び処理用地範囲を越えて発生土均しをする場合は監督職員と協議すること。~~

(2) 掘削により既設暗渠排水管が切断される場合は、暗渠出口を閉塞しないように処置すると共に監督職員の指示により暗渠吐口処理工等を設けること。この場合、暗渠吐口処理工を設計変更する場合がある。



12. 法面工

(1) 冬季施工で計画しているが、施工時期に変更があった場合、監督職員と協議すること。
なお、協議の結果、設計変更する場合がある。

明 渠 排 水 工

V型フリューム



1. V型フリュームの規格は下表の数値とする。

規格	製品長	備考
V-2000×1600	995 mm	参考重量3,000kg

そ の 他



1. 管理用道路の施工に際しては、隣接する圃場等の地形を踏まえた施工基面高とすること。
なお、管理用道路等が要因で、隣接農地等に湛水が発生する可能性がある場合には、監督員と事前に協議を行うこと。
2. 既設撤去時に連節ブロックの含銅線、吸出し防止材が確認された場合は、監督員と協議を行うこと。



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

平成36年度

農業水路等長寿命化・防災減災事業

坂の上幹線明渠排水路護岸改築工事

金抜き設計書

(当初)

事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業
工事名	坂の上幹線明渠排水路護岸改築工事

項目名	数量	単位	金額	備考
1 工事価格	1.000	式		
2 ・工事原価	1.000	式		
3 純工事費	1.000	式		
4 ・ ・ 直接工事費	1.000	式		
5 ・ ・ 間接工事費	1.000	式		
6 ・ ・ ・ 共通仮設費	1.000	式		
7 ・ ・ ・ ・ 運搬費～管繕費等				
	$(4+13+15-17-18-19-20-22) \times (\text{標準値} * \text{補正值} * \text{補正值})$		%	
8 ・ ・ ・ ・ 現場環境改善費	1.000	式		
9 ・ ・ ・ ・ ・ 現場環境改善費(率計上)				
	$(4-14-20) \times (\text{標準値})$		%	
10 ・ ・ ・ 現場管理費				
	$(4+6+12-17-19-20-21-22) \times ((\text{標準値} * \text{補正值} + \text{補正值} + \text{補正值} - \text{補正值}) * \text{補正值})$		%	
11 ・ 一般管理費等				
	$(4+6+23-17-20-21-22) \times (\text{標準値} * \text{補正值} * \text{補正值})$		%	
12 支給品費				
13 支給品費(直工・事業損失防止)				
14 処分費等(直接工事費の内数)	1.000	式		
15 処分費(準備費の内数)				
16 処分費(事業損失防止施設費の内数)				
17 処分費等(率対象外)				
18 共通仮設費率対象外				
19 共通仮設費及び現場管理費率対象外				
20 循環税(直接工事費の内数)				
21 循環税(準備費の内数)				
22 循環税(事業損失防止施設費の内数)				
23 ・ ・ ・ 一般管理費等算出用(現場管理費)				
	$(4+6+12-17-19-20-21-22) \times ((\text{標準値} * \text{補正值} + \text{補正值} + \text{補正值} - \text{補正值}) * \text{補正值})$		%	
24 ・ 一般管理費等対象額				
	$(4+6+23-17-20-21-22) \times \text{標準値}$		%	
25 法定福利費概算額(工事価格の内数)				
	$(1) \times \text{標準値}$		%	

事業名 農業水路等長寿命化・防災減災事業

工事名 坂の上幹線明渠排水路護岸改築工事

工種名称	数量	単位	金額	備考
直接工事費内訳				
直接工事費	1.000	式		
・土工	1.000	式		
・掘削工	1.000	式		
・土砂掘削 流用土	1.000	式		
・盛土工	1.000	式		
・流用土盛土 流用土	1.000	式		
・法面整形工	1.000	式		
・法面整形	1.000	式		
・管理用道路工	1.000	式		
・敷砂利	1.000	式		
・法面工	1.000	式		
・植生工	1.000	式		
・植生	1.000	式		
・護岸工	1.000	式		
・作業土工	1.000	式		
・床掘作業土工	1.000	式		
・埋戻し作業土工 現地埋戻し	1.000	式		
・作業残土処理 残土	1.000	式		
・コンクリートブロック工	1.000	式		
・プレキャストトラフ工	1.000	式		
・流入工	1.000	式		
・作業土工	1.000	式		
・床掘作業土工	1.000	式		
・埋戻し作業土工 現地埋戻し	1.000	式		
・床仕上げ	1.000	式		
・プレキャスト流入工	1.000	式		
・プレキャスト流入	1.000	式		
・構造物撤去工	1.000	式		
・構造物取壊し工	1.000	式		
・コンクリート構造物取壊し	1.000	式		
・仮設工	1.000	式		
・土留・仮締切工	1.000	式		
・土のう 土のう	1.000	式		
・水替工	1.000	式		
・ポンプ排水	1.000	式		

事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業
工事名	坂の上幹線明渠排水路護岸改築工事

名称(規格)	数量	単位	単価	金額	備考
直接工事費					
・土工					
掘削工	1.000	式			
土砂掘削	1.000	式			1式当たり
流用土	1.000	式			
SP床掘り					歩A・単A
土砂,標準,無し,無し	18.000	m3			S単 2号
合 計					
盛土工	1.000	式			
流用土盛土	1.000	式			1式当たり
流用土	1.000	式			
まき出し,人力					歩A・単A
砂質土	2.000	m3			S単 4号
締固め,狭隘な箇所					歩A・単A
路体・築堤,1.0m W<2.5m	2.000	m3			S単 8号
合 計					
法面整形工	1.000	式			
法面整形	1.000	式			1式当たり
SP法面整形 盛土部(機械)					歩A・単A
盛土部,有り,無し,砂質土,砂及び砂質土,粘性土	49.000	m ²			S単 5号
合 計					
管理用道路工	1.000	式			
敷砂利	1.000	式			1式当たり
敷砂利	1.000	式			
0.10m,切込砂利40mm級	180.000	m ²			歩A・単A
合 計					S単 17号
法面工	1.000	式			
植生工	1.000	式			
植生	1.000	式			1式当たり
植生マット					歩A・単A
肥料袋付	13.500	m ²			S単 23号
合 計					
護岸工	1.000	式			
作業土工	1.000	式			
床掘作業土工	1.000	式			1式当たり
SP床掘り					歩A・単A
土砂,標準,無し,無し	106.000	m3			S単 2号
合 計					
埋戻し作業土工					1式当たり
現地埋戻し	1.000	式			
SP埋戻し					歩A・単A
最大埋戻幅1m未満,-,-	27.000	m3			S単 6号
合 計					
作業残土処理					1式当たり
残土	1.000	式			
SP整地					歩A・単A
残土受入れ地での処理,-,-	91.000	m3			S単 1号
合 計					

事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業
工事名	坂の上幹線明渠排水路護岸改築工事

名称(規格)	数量	単位	単価	金額	備考
・・コンクリートブロック工	1.000	式			
・・・プレキャストトラフ工	1.000	式			1式当たり
大型Vトラフ 2000*1600*950 W=3000kg/m	30.000	m			歩A・単A
大型トラフ据付 V型,150型	30.000	m			歩A・単A S単 15号
SP裏込砕石 切込砂利 80mm級,材料費+施工費	61.000	m ³			歩A・単A S単 10号
SP基礎砕石 7.5cm超え12.5cm以下,切込砂利 80mm級,材料費+施工費	102.000	m ²			歩A・単A S単 9号
まき出し,人力 砂質土	2.000	m ³			歩A・単A S単 4号
合 計					
・流入工	1.000	式			
・・作業土工	1.000	式			
・・・床掘作業土工	1.000	式			1式当たり
SP床掘り 土砂,標準,無し,無し	1.000	m ³			歩A・単A S単 2号
合 計					
・・・埋戻し作業土工	1.000	式			1式当たり
現地埋戻し SP埋戻し 最小埋戻幅4m以上,-,-	1.000	m ³			歩A・単A S単 7号
合 計					
・・・床仕上げ	1.000	式			1式当たり
SP基面整正	2.000	m ²			歩A・単A S単 3号
合 計					
・・プレキャスト流入工	1.000	式			
・・・プレキャスト流入	1.000	式			1式当たり
U・V型側溝設置 [標準単価] U型,U300(B)型,L=2,000mm,1,000kg/個以下	4.000	m			歩A・単A S単 24号
SP基礎砕石 7.5cm超え12.5cm以下,切込砂利 80mm級,材料費+施工費	2.000	m ²			歩A・単A S単 9号
U型トラフ止水壁 従来型 300B 1100*800*150 用心鉄筋入り 参考重量268kg	1.000	個			歩A・単A
植生土のう 植生土のう 40x60cm(芝草類)	4.000	m ²			歩A・単A S単 16号
合 計					
・構造物撤去工	1.000	式			
・・構造物取壊し工	1.000	式			
・・・コンクリート構造物取壊し	1.000	式			1式当たり
コンクリート構造物とりこわし [標準単価] 無筋,機械施工	31.000	m ³			歩A・単A S単 22号
合 計					
・仮設工	1.000	式			
・・土留・仮締切工	1.000	式			
・・・土のう 土のう	1.000	式			1式当たり
土のう締切 製作~設置~撤去	1.000	m ³			歩A・単A S単 20号
合 計					

事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業
工事名	坂の上幹線明渠排水路護岸改築工事

コード	名称(規格)	数量	単位	単価	金額	備考
	*** S単 - 1号 *** SP 整地					
	SP 整地 残土受け地での処理, -,-		m3			歩A・単A
	*** S単 - 2号 *** SP 床掘り					
	SP 床掘り 土砂,標準,無し,無し		m3			歩A・単A
	*** S単 - 3号 *** SP 基面整正					
	SP 基面整正		m ²			歩A・単A
	*** S単 - 4号 *** まき出し 人力					
	まき出し 人力 砂質土		m3			歩A・単A
	*** S単 - 5号 *** SP 法面整形 盛土部(機械)					
	SP 法面整形 盛土部(機械) 盛土部,有り,無し,砂質土,砂及び砂質土,粘性土		m ²			歩A・単A
	*** S単 - 6号 *** SP 埋戻し					
	SP 埋戻し 最大埋戻幅1m未満, -,-		m3			歩A・単A
	*** S単 - 7号 *** SP 埋戻し					
	SP 埋戻し 最小埋戻幅4m以上, -,-		m3			歩A・単A
	*** S単 - 8号 *** 締固め 狭隘な箇所					
	締固め 狭隘な箇所 路体・築堤,1.0m W<2.5m		m3			歩A・単A
	*** S単 - 9号 *** SP 基礎砕石					
	SP 基礎砕石 7.5cm超え12.5cm以下,切込砂利 80mm級,材料費+施工費		m ²			歩A・単A
	*** S単 - 10号 *** SP 裏込砕石					
	SP 裏込砕石 切込砂利 80mm級,材料費+施工費		m3			歩A・単A
	*** S単 - 11号 *** SP 現場発生品及び支給品運搬					
	SP 現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付2t級2.9t吊,無し,17.0km以下		ton			歩A・単A
	*** S単 - 12号 *** SP 殻運搬					
	SP 殻運搬 コンクリート(無筋)構造物とりこわし,機械積込,無し,10.9km以下		m3			歩A・単A
	*** S単 - 13号 *** コンクリート廃材受入費					
	コンクリート廃材受入費 無筋 中間処理費		m3			歩A・単A
	*** S単 - 14号 *** 廃プラスチック類受入費					
	廃プラスチック類受入費 中間処理費		ton			歩A・単A
	*** S単 - 15号 *** 大型トラフ据付					
	大型トラフ据付 V型,150型		m			歩A・単A
	*** S単 - 16号 *** 植生土のう					
	植生土のう 植生土のう 40×60cm(芝草類)		m ²			歩A・単A
	*** S単 - 17号 *** 敷砂利					
	耕作道路路盤 0.10m,切込砂利40mm級		m ²			歩A・単A
	*** S単 - 18号 *** 工事中水中ポンプ運転 発電機					
	工事中水中ポンプ運転 発電機 120以上450m3/h未満,作業時排水(8h/日)		日			歩A・単A
	*** S単 - 19号 *** 工事中水中ポンプ設置・撤去					
	工事中水中ポンプ設置・撤去 1~5台/箇所		箇所			歩A・単A
	*** S単 - 20号 *** 土のう締切					
	土のう締切 製作-設置-撤去		m3			歩A・単A
	*** S単 - 21号 *** 釜場設置・撤去					
	釜場設置・撤去		箇所			歩A・単A
	*** S単 - 22号 *** コンクリート構造物とりこわし [標準単価]					

事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業
工事名	坂の上幹線明渠排水路護岸改築工事

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	*** S単 - 1号 ***					
	SP 整地		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 整地 残土受け入れ地での処理, -, -			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)作業区分 2)施工数量 3)障害の有無	残土受け入れ地での処理 - -				
	単 価		m3			
	*** S単 - 2号 ***					
	SP 床掘り		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 床掘り 土砂,標準,無し,無し			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)土質 2)施工方法 3)土留方式の種類 4)障害の有無	土砂 標準 無し 無し				
	単 価		m3			
	*** S単 - 3号 ***					
	SP 基面整正		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 基面整正			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)整形区分	基面整正				
	単 価		m ²			
	*** S単 - 4号 ***					
	まき出し_人力		m3		10.000 m3	歩A 当たり算出
	まき出し_人力 砂質土			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)土質区分	砂質土				
	普通作業員		0.680 人			
	合 計					算出数量 10.000 m3
	単 価		m3			
	*** S単 - 5号 ***					
	SP 法面整形 盛土部(機械)		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 法面整形 盛土部(機械) 盛土部,有り,無し,埴質土、砂及び砂質土、粘性土			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)整形箇所 2)法面締固めの有無 3)現場制約の有無 4)土質	盛土部 有り 無し 埴質土、砂及び砂質土、粘性土				
	単 価		m ²			
	*** S単 - 6号 ***					
	SP 埋戻し		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 埋戻し 最大埋戻幅1m未満, -, -			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	

事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業
工事名	坂の上幹線明渠排水路護岸改築工事

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	1)施工方法 2)土質 3)締固めの有無	最大埋戻幅1m未満 - -				
	単 価		m3			
	*** S単 - 7号 ***					
	SP 埋戻し		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 埋戻し 最小埋戻幅4m以上,-,-			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)施工方法 2)土質 3)締固めの有無	最小埋戻幅4m以上 - -				
	単 価		m3			
	*** S単 - 8号 ***					
	締固め 狭隘な箇所		m3		100.000 m3	歩A 当たり算出
	締固め 狭隘な箇所 路体・築堤,1.0m W<2.5m			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)締固め度期待値 2)施工幅員(W)	路体・築堤 1.0m W<2.5m				
	振動ローラ賃料 搭乗・コパ'イト'式 3~4t ~超低・~3次		1.860	供用日		
	軽油 一般		20.000	L		
	運転手(特殊)		1.160	人		
	合 計					算出数量 100.000 m3
	単 価		m3			
	*** S単 - 9号 ***					
	SP 基礎砕石		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 基礎砕石 7.5cm超え12.5cm以下,切込砂利 80mm級,材料費+施工費			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)砕石の厚さ 2)砕石の種類 3)施工区分	7.5cm超え12.5cm以下 切込砂利 80mm級 材料費+施工費				
	単 価		m ²			
	*** S単 - 10号 ***					
	SP 裏込砕石		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 裏込砕石 切込砂利 80mm級,材料費+施工費			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)砕石の種類 2)施工区分	切込砂利 80mm級 材料費+施工費				
	単 価		m3			
	*** S単 - 11号 ***					
	SP 現場発生品及び支給品運搬		ton		1.000 ton	歩A 当たり算出
	SP 現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付2t級2.9t吊,無し,17.0km以下			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)トラック機種 2)DID区間の有無 3)片道運搬距離(km)	クレーン装置付2t級2.9t吊 無し 17.0km以下				

事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業
工事名	坂の上幹線明渠排水路護岸改築工事

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	単 価		回			
	*** S単 - 12号 ***					
	SP 殻運搬		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 殻運搬 コンクリート(無筋)構造物とりこわし,機械積込,無し,10.9km以下			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)殻発生作業 2)積込工法区分 3)D1D区間の有無 4)運搬距離(km)	コンクリート(無筋)構造物とりこわし 機械積込 無し 10.9km以下				
	単 価		m3			
	*** S単 - 13号 ***					
	コンクリート廃材受入費		m3		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	コンクリート廃材受入費 無筋 中間処理費			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)地区資材単価のコード_ 2)資材規格の入力_ 3)単価の入力_	無筋 中間処理費				
	コンクリート廃材受入費 無筋 中間処理費	1.000	m3			
	合 計					算出数量 1.000 各単位
	単 価					
	*** S単 - 14号 ***					
	廃プラスチック類受入費		ton		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	廃プラスチック類受入費 中間処理費			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)地区資材単価のコード_ 2)資材規格の入力_ 3)単価の入力_	中間処理費				
	廃プラスチック類受入費 中間処理費	1.000	ton			
	合 計					算出数量 1.000 各単位
	単 価					
	*** S単 - 15号 ***					
	大型トラフ据付		m		10.000 m	歩A 当たり算出
	大型トラフ据付 V型,150型			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)施工区分 2)製品長さ区分 3)質量区分 4)型式区分 6)規格区分 8)目地区分 9)クレーン種別_	材料費(目地) + 施工費 L=1,000mm 2,500超え3,500kg/個以下 V型 150型 モルタル目地 フフレックレン				
	土木一般世話役	0.770	人			
	特殊作業員	0.770	人			
	普通作業員	2.690	人			
	ラフレックレンクレーン賃料 油圧伸縮ジブ型 25t吊 ~低音・~2014 モルタル目地	0.770	日			
		0.010				
	合 計					算出数量 10.000 m
	単 価		m			
	大型トラフ据付					

事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業
工事名	坂の上幹線明渠排水路護岸改築工事

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	*** S単 - 16号 ***					
	植生土のう		m ²		10.000	歩A 当たり算出
	植生土のう			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0	
	植生土のう 40×60cm(芝草類)			週休:4週8休以上	深夜時間:0.0	
	1)施工区分 2)材料区分	材料費+施工費 植生土のう 40×60cm(芝草類)				
	植生土のう 芝草類 60×40cm	200.000	袋			
	普通作業員	5.100	人			
	合計					算出数量 10.000 m ²
	単価		m ²			
	*** S単 - 17号 ***					
	敷砂利		m ²		100.000	歩A 当たり算出
	耕作道路路盤 0.10m,切込砂利40mm級			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0	
	1)施工区分 2)敷均し厚さ(t) 3)材料種別	材料費+施工費 0.10m 切込砂利40mm級		週休:4週8休以上	深夜時間:0.0	
	切込砂利 40mm級	11.600	m ³			
	土木一般世話役	0.200	人			
	普通作業員	0.620	人			
	バックホウ(加-ラ型) 標準型 山積0.28m ³ (平積0.2m ³) 排対型(2)	2.500	時間			
	軽油 一般	15.000	L			
	運転手(特殊)	0.400	人			
	合計					算出数量 100.000 m ²
	単価		m ²			
	*** S単 - 18号 ***					
	工事用水中ポンプ運転 発電機		日		1.000	歩A 当たり算出
	工事用水中ポンプ運転 発電機 120以上450m ³ /h未満,作業時排水(8h/日)			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0	
	1)排水量区分(m ³ /時間) 2)作業内容区分	120以上450m ³ /h未満 作業時排水(8h/日)		週休:4週8休以上	深夜時間:0.0	
	工事用水中モータポンプ(潜水ポンプ)賃料 口径150mm 全揚程10m	1.200	供用日			
	工事用水中モータポンプ(潜水ポンプ)賃料 口径200mm 全揚程10m	2.400	供用日			
	発動発電機賃料(ディーゼルエンジン駆動) 定格容量60kVA ~ 超低・~3次	1.200	供用日			
	軽油 一般	56.000	L			
	特殊作業員	0.140	人			
	諸雑費	0.030				
	合計					算出数量 1.000 日
	単価		日			
	*** S単 - 19号 ***					
	工事用水中ポンプ設置・撤去		箇所		1.000	歩A 当たり算出
	工事用水中ポンプ設置・撤去 1~5台/箇所			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0	
	1)ポンプ台数区分	1~5台/箇所		週休:4週8休以上	深夜時間:0.0	
	土木一般世話役	0.500	人			
	特殊作業員	0.100	人			

事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業
工事名	坂の上幹線明渠排水路護岸改築工事

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	普通作業員	2.000	人			
	バックホウ賃料(加-型・ク-ン機能付) 山積0.8m3(平積0.6m3) 2.9t吊 ~ 超低・~ 2014	0.580	供用日			
	軽油 一般	33.000	L			
	運転手(特殊)	0.500	人			
	合計					算出数量 1.000 箇所
	単 価		箇所			
	*** S単 - 20号 ***					
	土のう締切		m3		10.000 m3	歩A 当たり算出
	土のう締切 製作~設置~撤去			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)施工区分 2)作業区分	材料費+施工費 製作~設置~撤去		週休:4週8休以上		
	土のう 62×48cm 折り上げ製	500.000	枚			
	普通作業員	14.500	人			
	合計					算出数量 10.000 m3
	単 価		m3			
	*** S単 - 21号 ***					
	釜場設置・撤去		箇所		1.000 箇所	歩A 当たり算出
	釜場設置・撤去			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)施工区分	設置+撤去		週休:4週8休以上		
	土木一般世話役	0.040	人			
	普通作業員	0.100	人			
	バックホウ(加-型) 標準型 山積0.28m3(平積0.2m3) 排対型(1)	0.570	時間			
	軽油 一般	3.400	L			
	運転手(特殊)	0.090	人			
	諸雑費 13%	0.130				
	土木一般世話役	0.040	人			
	特殊作業員	0.050	人			
	普通作業員	0.190	人			
	バックホウ(加-型) 標準型 山積0.28m3(平積0.2m3) 排対型(1)	0.370	時間			
	軽油 一般	2.200	L			
	運転手(特殊)	0.060	人			
	諸雑費 3%	0.030				
	合計					算出数量 1.000 箇所
	単 価		箇所			
	釜場設置・撤去					
	*** S単 - 22号 ***					
	コンクリート構造物とりこわし [標準単価]		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	コンクリート構造物とりこわし [標準単価] 無筋,機械施工			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)施工区分 2)作業区分	機械施工 無筋		週休:4週8休以上		
	3)低騒音・低振動対策区分	する				
	構造物取壊し工(制約無・昼間) 無筋構造物 機械施工	1.300	m3			

事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業
工事名	坂の上幹線明渠排水路護岸改築工事

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	合計					算出数量 1.000 m3
	単価		m3			
	*** S単 - 23号 ***					
	植生マット		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	植生マット 肥料袋付			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)工種区分 2)規格区分 3)施工規模 4)時間的制約区分 5)施工区分	植生マット 肥料袋付 500m ² 未満 -				
	植生マット工 肥料袋付		1.150 m ²			
	合計					算出数量 1.000 m ²
	単価		m ²			
	植生マット					
	*** S単 - 24号 ***					
	U・V型側溝設置 [標準単価]		m		10.000 m	歩A 当たり算出
	U・V型側溝設置 [標準単価] U型,U300(B)型,L=2,000mm,1,000kg/個以下			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)施工区分 2)型式区分 3)長さ区分 4)質量区分 5)規格区分 6)法面小段面作業区分 7)法面縦排水作業区分 8)基礎材施工区分 9)基礎材区分 10)基礎材敷均し幅 11)基礎材敷均し厚	材料費(ト7) + 施工費 U型 L=2,000mm 1,000kg/個以下 U300(B)型 無し 無し 施工する 切込砂利 80mm級 1.00m 0.15m				
	ロングU型トラフ 300B型 30×30×200cm	10.000	m			
	切込砂利 80mm級	1.800	m ³			
	U・V型側溝設置工(制約無・昼間) L=2000 1000kg/個以下	10.000	m			
	合計					算出数量 10.000 m
	単価		m			
	U・V型側溝設置 [標準単価]					



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

平成36年度

農業水路等長寿命化・防災減災事業

坂の上幹線明渠排水路護岸改築工事

統一施工単価表

事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業
工事名	坂の上幹線明渠排水路護岸改築工事

コード	名称, 施工区分	単位	単価
	SP 整地 残土受入れ地での処理, -, -	m ³	
	SP 床掘り 土砂, 標準, 無し, 無し	m ³	
	SP 基面整正 基面整正	m ²	
	まき出し 人力 砂質土	m ³	
	SP 法面整形 盛土部(機械) 盛土部, 有り, 無し, け質土, 砂及び砂質土, 粘性土	m ³	
	SP 埋戻し 最大埋戻幅1m未満, -, - 最小埋戻幅4m以上, -, -	m ³	
	締固め 狭隘な箇所 路体・築堤, 1.0m W < 2.5m	m ³	
	SP 基礎砕石 7.5cm超え12.5cm以下, 切込砂利 80mm級, 材料費 + 施工費	m ²	
	SP 裏込砕石 切込砂利 80mm級, 材料費 + 施工費	m ³	
	SP 現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付2t級2.9t吊, 無し, 17.0km以下	ton	
	SP 殻運搬 コンクリート(無筋)構造物とりこわし, 機械積込, 無し, 10.9km以下	m ³	
	コンクリート廃材受入費 , 無筋 中間処理費, 2,530円 , 中間処理費, 0円	m ³	
	大型トラフ据付 材料費(目地) + 施工費, L=1,000mm, 2,500超え3,500kg/個以下, V型, , 150型, , モルタル目地, ヲフレソール	m	
	植生土のう 材料費 + 施工費, 植生土のう 40 x 60cm(芝草類)	m ²	
	耕作道路路盤 材料費 + 施工費, 0.10m, 切込砂利40mm級	m ²	
	工用水中ポンプ運転 発電機 120以上450m ³ /h未満, 作業時排水(8h/日)	日	
	工用水中ポンプ設置・撤去 1~5台/箇所	箇所	
	土のう締切 材料費 + 施工費, 製作 ~ 設置 ~ 撤去	m ³	
	釜場設置・撤去 設置 + 撤去	箇所	
	コンクリート構造物とりこわし [標準単価] 機械施工, 無筋, する	m ³	
	植生マット 植生マット, 肥料袋付, 500m ² 未満, -, 材料費 + 施工費	m ²	
	U・V型側溝設置 [標準単価]	m	

事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業
工事名	坂の上幹線明渠排水路護岸改築工事

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	*** S単 - 1号 ***					
	SP 整地		m3		1.000	歩A 当たり算出
	SP 整地 残土受け入れ地での処理 .-.			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)作業区分 2)施工数量 3)障害の有無	残土受け入れ地での処理 - -				
	バックホウ賃料(加-型) 山積0.8m3(平積0.6m3) ~ 超低・~2014 運転手(特殊)		供用日 人			
	軽油 一般		L			
	単 価		m3			
	*** S単 - 2号 ***					
	SP 床掘り		m3		1.000	歩A 当たり算出
	SP 床掘り 土砂,標準,無し,無し			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)土質 2)施工方法 3)土留方式の種類 4)障害の有無	土砂 標準 無し 無し				
	バックホウ賃料(加-型) 山積0.8m3(平積0.6m3) ~ 超低・~2014 運転手(特殊)		供用日 人			
	軽油 一般		L			
	単 価		m3			
	*** S単 - 3号 ***					
	SP 基面整正		m ²		1.000	歩A 当たり算出
	SP 基面整正			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)整形区分 普通作業員	基面整正	人			
	単 価		m ²			
	*** S単 - 5号 ***					
	SP 法面整形 盛土部(機械)		m ²		1.000	歩A 当たり算出
	SP 法面整形 盛土部(機械) 盛土部,有り,無し,ㄧ質土、砂及び砂質土、粘性土			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)整形箇所 2)法面締固めの有無 3)現場制約の有無 4)土質	盛土部 有り 無し ㄧ質土、砂及び砂質土、粘性土				
	バックホウ賃料(加-型) 山積0.8m3(平積0.6m3) ~ 超低・~2014 普通作業員		供用日 人			
	運転手(特殊)		人			
	土木一般世話役		人			
	軽油 一般		L			
	単 価		m ²			

事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業
工事名	坂の上幹線明渠排水路護岸改築工事

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	*** S単 - 6号 ***					
	SP 埋戻し		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 埋戻し 最大埋戻幅1m未満, -, -			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)施工方法	最大埋戻幅1m未満				
	2)土質	-				
	3)締固めの有無	-				
	バックホウ(加-型) 標準型 山積0.45m3(平積0.35m3) 排対型(1)		供用日			
	タンバ(ランマ)賃料 60~80kg		供用日			
	普通作業員		人			
	特殊作業員		人			
	運転手(特殊)		人			
	軽油 一般		L			
	ガソリン レギュラー 無鉛		L			
	単 価		m3			
	*** S単 - 7号 ***					
	SP 埋戻し		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 埋戻し 最小埋戻幅4m以上, -, -			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)施工方法	最小埋戻幅4m以上				
	2)土質	-				
	3)締固めの有無	-				
	ブルドーザ 普通 15t級 排対型(1)		供用日			
	バックホウ(加-型) 標準型 山積0.8m3(平積0.6m3) 排対型(2)		供用日			
	運転手(特殊)		人			
	軽油 一般		L			
	単 価		m3			
	*** S単 - 9号 ***					
	SP 基礎碎石		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 基礎碎石 7.5cm超え12.5cm以下, 切込砂利 80mm級, 材料費 + 施工費			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)碎石の厚さ	7.5cm超え12.5cm以下				
	2)碎石の種類	切込砂利 80mm級				
	3)施工区分	材料費 + 施工費				
	バックホウ賃料(加-型) 山積0.8m3(平積0.6m3) ~ 超低・~2014		供用日			
	普通作業員		人			
	特殊作業員		人			
	運転手(特殊)		人			
	土木一般世話役		人			
	切込砂利 80mm級		m3			
	軽油 一般		L			
	単 価		m ²			
	*** S単 - 10号 ***					

事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業
工事名	坂の上幹線明渠排水路護岸改築工事

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	SP 裏込砕石		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 裏込砕石 切込砂利 80mm級, 材料費 + 施工費			冬期補正: なし 超勤時間: 0.0 週休: 4週8休以上	基本給時間: 8.0 深夜時間: 0.0	
	1) 砕石の種類 2) 施工区分	切込砂利 80mm級 材料費 + 施工費				
	バックホウ賃料(クワ型) 山積0.8m3(平積0.6m3) ~ 超低・~2014 普通作業員		供用日			
	特殊作業員		人			
	運転手(特殊)		人			
	土木一般世話役		人			
	切込砂利 80mm級		m3			
	軽油 一般		L			
	単 価		m3			
	*** S単 - 11号 ***					
	SP 現場発生品及び支給品運搬		ton		1.000 ton	歩A 当たり算出
	SP 現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付2t級2.9t吊, 無し, 17.0km以下			冬期補正: なし 超勤時間: 0.0 週休: 4週8休以上	基本給時間: 8.0 深夜時間: 0.0	
	1) トラック機種 2) DID区間の有無 3) 片道運搬距離(km)	クレーン装置付2t級2.9t吊 無し 17.0km以下				
	トラック クレーン装置付 トラック2 t 積 2.9 t 吊 特殊作業員		供用日			
	運転手(特殊)		人			
	軽油 一般		L			
	単 価		回			
	*** S単 - 12号 ***					
	SP 殻運搬		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 殻運搬 コンクリート(無筋)構造物とりこわし, 機械積込, 無し, 10.9km以下			冬期補正: なし 超勤時間: 0.0 週休: 4週8休以上	基本給時間: 8.0 深夜時間: 0.0	
	1) 殻発生作業 2) 積込工法区分 3) DID区間の有無 4) 運搬距離(km)	コンクリート(無筋)構造物とりこわし 機械積込 無し 10.9km以下				
	ダンプトラック ワイド・ディーゼル 10 t 積級 運転手(一般)		供用日			
	軽油 一般		L			
	単 価		m3			

事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業
工事名	坂の上幹線明渠排水路護岸改築工事

コード	名称(規格)	数量	単位	単価	金額	備考
	U型トラフ止水壁 従来型 300B 1100*800*150 用心鉄筋入り 参考重量268kg	1.000	個			単A
	大型Vトラフ 2000*1600*950 W=3000kg/m	30.000	m			単A
	小 計					
	燃料・ガス類					
【SP】	ガソリン レギュラー 無鉛	4.839	L			単A
	軽油 一般	514.000	L			単A
【SP】	軽油 一般	355.414	L			単A
	小 計					
	その他諸資材					
	土のう 62×48cm ホリ刃製	50.000	枚			単A
	ロングU型トラフ ロングU型トラフ 300B型 30×30×200cm	4.000	m			単A
	人工芝 植生土のう 芝草類 60×40cm	80.000	袋			単A
	合 計					
	切込砂利					
	切込砂利 40mm級	20.880	m3			単A
	切込砂利 80mm級	0.720	m3			単A
【SP】	切込砂利 80mm級	85.644	m3			単A
	小 計					
	コンクリート					
	コンクリート廃材受入費 無筋 中間処理費	31.000	m3			単A
	廃プラスチック類					
	廃プラスチック類受入費 中間処理費	0.120	ton			単A
	合 計					

事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業
工事名	坂の上幹線明渠排水路護岸改築工事

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	*** S単 - 1号 ***					
	SP 整地		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 整地 残土受け入れ地での処理, -, -			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)作業区分 2)施工数量 3)障害の有無	残土受け入れ地での処理 - -				
	単 価		m3			
	*** S単 - 2号 ***					
	SP 床掘り		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 床掘り 土砂,標準,無し,無し			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)土質 2)施工方法 3)土留方式の種類 4)障害の有無	土砂 標準 無し 無し				
	単 価		m3			
	*** S単 - 3号 ***					
	SP 基面整正		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 基面整正			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)整形区分	基面整正				
	単 価		m ²			
	*** S単 - 4号 ***					
	まき出し_人力		m3		10.000 m3	歩A 当たり算出
	まき出し_人力 砂質土			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)土質区分	砂質土				
	普通作業員	0.680	人			
	合 計					算出数量 10.000 m3
	単 価		m3			
	*** S単 - 5号 ***					
	SP 法面整形 盛土部(機械)		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 法面整形 盛土部(機械) 盛土部,有り,無し,埴質土、砂及び砂質土、粘性土			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)整形箇所 2)法面締固めの有無 3)現場制約の有無 4)土質	盛土部 有り 無し 埴質土、砂及び砂質土、粘性土				
	単 価		m ²			
	*** S単 - 6号 ***					
	SP 埋戻し		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 埋戻し 最大埋戻幅1m未満, -, -			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	

事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業
工事名	坂の上幹線明渠排水路護岸改築工事

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	1)施工方法 2)土質 3)締固めの有無	最大埋戻幅1m未満 - -				
	単 価		m3			
	*** S単 - 7号 ***					
	SP 埋戻し		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 埋戻し 最小埋戻幅4m以上,-,-			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)施工方法 2)土質 3)締固めの有無	最小埋戻幅4m以上 - -				
	単 価		m3			
	*** S単 - 8号 ***					
	締固め 狭隘な箇所		m3		100.000 m3	歩A 当たり算出
	締固め 狭隘な箇所 路体・築堤,1.0m W<2.5m			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)締固め度期待値 2)施工幅員(W)	路体・築堤 1.0m W<2.5m				
	振動ローラ賃料 搭乗・コパ'イト'式 3~4t ~超低・~3次		1.860	供用日		
	軽油 一般		20.000	L		
	運転手(特殊)		1.160	人		
	合 計					算出数量 100.000 m3
	単 価		m3			
	*** S単 - 9号 ***					
	SP 基礎砕石		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 基礎砕石 7.5cm超え12.5cm以下,切込砂利 80mm級,材料費+施工費			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)砕石の厚さ 2)砕石の種類 3)施工区分	7.5cm超え12.5cm以下 切込砂利 80mm級 材料費+施工費				
	単 価		m ²			
	*** S単 - 10号 ***					
	SP 裏込砕石		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 裏込砕石 切込砂利 80mm級,材料費+施工費			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)砕石の種類 2)施工区分	切込砂利 80mm級 材料費+施工費				
	単 価		m3			
	*** S単 - 11号 ***					
	SP 現場発生品及び支給品運搬		ton		1.000 ton	歩A 当たり算出
	SP 現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付2t級2.9t吊,無し,17.0km以下			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)トラック機種 2)DID区間の有無 3)片道運搬距離(km)	クレーン装置付2t級2.9t吊 無し 17.0km以下				

事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業
工事名	坂の上幹線明渠排水路護岸改築工事

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	単 価		回			
	*** S単 - 12号 ***					
	SP 殻運搬		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 殻運搬 コンクリート(無筋)構造物とりこわし,機械積込,無し,10.9km以下			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)殻発生作業 2)積込工法区分 3)D1D区間の有無 4)運搬距離(km)	コンクリート(無筋)構造物とりこわし 機械積込 無し 10.9km以下				
	単 価		m3			
	*** S単 - 13号 ***					
	コンクリート廃材受入費		m3		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	コンクリート廃材受入費 無筋 中間処理費			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)地区資材単価のコード_ 2)資材規格の <input type="text"/> 3)単価の <input type="text"/>	無筋 中間処理費				
	コンクリート廃材受入費 無筋 中間処理費	1.000	m3			
	合 計					算出数量 1.000 各単位
	単 価					
	*** S単 - 14号 ***					
	廃プラスチック類受入費		ton		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	廃プラスチック類受入費 中間処理費			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)地区資材単価のコード_ 2)資材規格の <input type="text"/> 3)単価の <input type="text"/>	中間処理費				
	廃プラスチック類受入費 中間処理費	1.000	ton			
	合 計					算出数量 1.000 各単位
	単 価					
	*** S単 - 15号 ***					
	大型トラフ据付		m		10.000 m	歩A 当たり算出
	大型トラフ据付 V型,150型			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)施工区分 2)製品長さ区分 3)質量区分 4)型式区分 6)規格区分 8)目地区分 9)クレーン種別	材料費(目地) + 施工費 L=1,000mm 2,500超え3,500kg/個以下 V型 150型 モルタル目地 フレンクレーン				
	土木一般世話役	0.770	人			
	特殊作業員	0.770	人			
	普通作業員	2.690	人			
	ラフテレーンクレーン賃料 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊 ~ 低音・~2014 モルタル目地	0.770	日			
		0.010				
	合 計					算出数量 10.000 m
	単 価		m			
	大型トラフ据付					

事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業
工事名	坂の上幹線明渠排水路護岸改築工事

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	*** S単 - 16号 ***					
	植生土のう		m ²		10.000	歩A 当たり算出
	植生土のう 植生土のう 40×60cm(芝草類)				基本給時間:8.0 超勤時間:0.0 深夜時間:0.0	
	1)施工区分 2)材料区分 植生土のう 芝草類 60×40cm	材料費+施工費 植生土のう 40×60cm(芝草類)				冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上
	普通作業員	200.000	袋			
		5.100	人			
	合計					算出数量 10.000 m ²
	単価		m ²			
	*** S単 - 17号 ***					
	敷砂利		m ²		100.000	歩A 当たり算出
	耕作道路路盤 0.10m,切込砂利40mm級				基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)施工区分 2)敷均し厚さ(t) 3)材料種別	材料費+施工費 0.10m 切込砂利40mm級				冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上
	切込砂利 40mm級	11.600	m ³			
	土木一般世話役	0.200	人			
	普通作業員	0.620	人			
	バックホウ(加-ラ型) 標準型 山積0.28m ³ (平積0.2m ³) 排対型(2)	2.500	時間			
	軽油 一般	15.000	L			
	運転手(特殊)	0.400	人			
	合計					算出数量 100.000 m ²
	単価		m ²			
	*** S単 - 18号 ***					
	工事用水中ポンプ運転 発電機		日		1.000	歩A 当たり算出
	工事用水中ポンプ運転 発電機 120以上450m ³ /h未満,作業時排水(8h/日)				基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)排水量区分(m ³ /時間) 2)作業内容区分	120以上450m ³ /h未満 作業時排水(8h/日)				冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上
	工事用水中モータポンプ(潜水ポンプ)賃料 口径150mm 全揚程10m	1.200	供用日			
	工事用水中モータポンプ(潜水ポンプ)賃料 口径200mm 全揚程10m	2.400	供用日			
	発動発電機賃料(ディーゼルエンジン駆動) 定格容量60kVA ~ 超低・~3次	1.200	供用日			
	軽油 一般	56.000	L			
	特殊作業員	0.140	人			
	諸雑費	0.030				
	合計					算出数量 1.000 日
	単価		日			
	*** S単 - 19号 ***					
	工事用水中ポンプ設置・撤去		箇所		1.000	歩A 当たり算出
	工事用水中ポンプ設置・撤去 1~5台/箇所				基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)ポンプ台数区分	1~5台/箇所				冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上
	土木一般世話役	0.500	人			
	特殊作業員	0.100	人			

事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業
工事名	坂の上幹線明渠排水路護岸改築工事

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	普通作業員	2.000	人			
	バックホウ賃料(加-型・ク-ン機能付) 山積0.8m3(平積0.6m3) 2.9t吊 ~ 超低・~ 2014	0.580	供用日			
	軽油 一般	33.000	L			
	運転手(特殊)	0.500	人			
	合計					算出数量 1.000 箇所
	単 価		箇所			
	*** S単 - 20号 ***					
	土のう締切		m3		10.000 m3	歩A 当たり算出
	土のう締切 製作~設置~撤去			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)施工区分 2)作業区分	材料費+施工費 製作~設置~撤去		週休:4週8休以上		
	土のう 62×48cm 麻理升ン製	500.000	枚			
	普通作業員	14.500	人			
	合計					算出数量 10.000 m3
	単 価		m3			
	*** S単 - 21号 ***					
	釜場設置・撤去		箇所		1.000 箇所	歩A 当たり算出
	釜場設置・撤去			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)施工区分	設置+撤去		週休:4週8休以上		
	土木一般世話役	0.040	人			
	普通作業員	0.100	人			
	バックホウ(加-型) 標準型 山積0.28m3(平積0.2m3) 排対型(1)	0.570	時間			
	軽油 一般	3.400	L			
	運転手(特殊)	0.090	人			
	諸雑費 13%	0.130				
	土木一般世話役	0.040	人			
	特殊作業員	0.050	人			
	普通作業員	0.190	人			
	バックホウ(加-型) 標準型 山積0.28m3(平積0.2m3) 排対型(1)	0.370	時間			
	軽油 一般	2.200	L			
	運転手(特殊)	0.060	人			
	諸雑費 3%	0.030				
	合計					算出数量 1.000 箇所
	単 価		箇所			
	釜場設置・撤去					
	*** S単 - 22号 ***					
	コンクリート構造物とりこわし [標準単価]		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	コンクリート構造物とりこわし [標準単価] 無筋,機械施工			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)施工区分 2)作業区分	機械施工 無筋		週休:4週8休以上		
	3)低騒音・低振動対策区分	する				
	構造物取壊し工(制約無・昼間) 無筋構造物 機械施工	1.300	m3			

事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業
工事名	坂の上幹線明渠排水路護岸改築工事

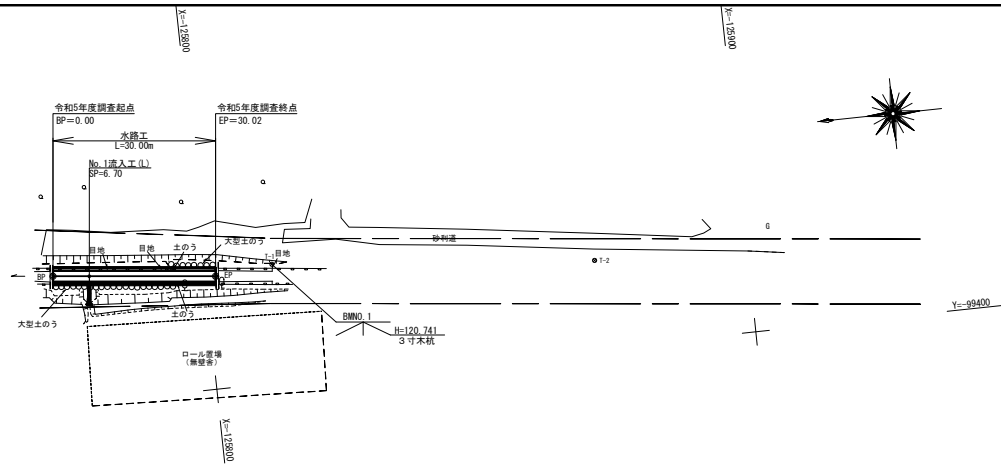
コード	名称	単位	構成比 (%)	東京単価	地区単価	備考
	*** S単 - 1号 ***					
	SP 整地	m3			1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 整地 残土受け入れ地での処理 .-. .-			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)作業区分 2)施工数量 3)障害の有無		残土受け入れ地での処理 - -			
	標準単価 K)機械構成比 R)労務構成比 Z)材料構成比 A)市場単価構成比		24.02% 49.00% 26.98% 0.00%			
	バックホウ賃料(ｸｰﾗ型) 山積0.8m3(平積0.6m3) ~超低・~2014	供用日	24.02%			K1
	運転手(特殊)	人	49.00%			R1
	軽油 一般	L	26.98%			Z1
	単 価	m3				
	*** S単 - 2号 ***					
	SP 床掘り	m3			1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 床掘り 土砂,標準,無し,無し			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)土質 2)施工方法 3)土留方式の種類 4)障害の有無		土砂 標準 無し 無し			
	標準単価 K)機械構成比 R)労務構成比 Z)材料構成比 A)市場単価構成比		24.08% 50.56% 25.36% 0.00%			
	バックホウ賃料(ｸｰﾗ型) 山積0.8m3(平積0.6m3) ~超低・~2014	供用日	24.08%			K1
	運転手(特殊)	人	50.56%			R1
	軽油 一般	L	25.36%			Z1
	単 価	m3				
	*** S単 - 3号 ***					
	SP 基面整正	m ²			1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 基面整正			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)整形区分		基面整正			
	標準単価 K)機械構成比 R)労務構成比 Z)材料構成比 A)市場単価構成比		0.00% 100.00% 0.00% 0.00%			
	普通作業員	人	100.00%			R1
	単 価	m ²				
	*** S単 - 5号 ***					
	SP 法面整形 盛土部(機械)	m ²			1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 法面整形 盛土部(機械) 盛土部,有り,無し,ﾄﾞﾚｯｼﾝｸﾞ土,砂及び砂質土,粘性土			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	

事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業
工事名	坂の上幹線明渠排水路護岸改築工事

コード	名称	単位	構成比 (%)	東京単価	地区単価	備考
	1)整形箇所 2)法面締固めの有無 3)現場制約の有無 4)土質		盛土部 有り 無し は質土、砂及び砂質土、粘性土			
	標準単価					
	K)機械構成比		12.90%			
	R)労務構成比		73.86%			
	Z)材料構成比		13.24%			
	A)市場単価構成比		0.00%			
	バックホウ(加-型) 山積0.8m3(平積0.6m3) ~ 超低・~2014	供用日	12.90%			K1
	普通作業員	人	30.50%			R1
	運転手(特殊)	人	27.27%			R2
	土木一般世話役	人	16.09%			R3
	軽油 一般	L	13.24%			Z1
	単 価	m ²				
	*** S単 - 6号 ***					
	SP 埋戻し	m3			1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 埋戻し 最大埋戻幅1m未満,-,-			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)施工方法 2)土質 3)締固めの有無		最大埋戻幅1m未満 - -			
	標準単価					
	K)機械構成比		6.01%			
	R)労務構成比		90.52%			
	Z)材料構成比		3.47%			
	A)市場単価構成比		0.00%			
	バックホウ(加-型) 標準型 山積0.45m3(平積0.35m3) 排対型(1)	供用日	5.33%			K1
	タンバ(ランマ)質料 60~80kg	供用日	0.68%			K2
	普通作業員	人	54.90%			R1
	特殊作業員	人	27.09%			R2
	運転手(特殊)	人	8.53%			R3
	軽油 一般	L	2.50%			Z1
	ガソリン レギュラー 無鉛	L	0.97%			Z2
	単 価	m3				
	*** S単 - 7号 ***					
	SP 埋戻し	m3			1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 埋戻し 最小埋戻幅4m以上,-,-			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)施工方法 2)土質 3)締固めの有無		最小埋戻幅4m以上 - -			
	標準単価					
	K)機械構成比		46.50%			
	R)労務構成比		36.85%			
	Z)材料構成比		16.65%			
	A)市場単価構成比		0.00%			
	ブルドーザ 普通 15t級 排対型(1)	供用日	27.15%			K1
	バックホウ(加-型) 標準型 山積0.8m3(平積0.6m3) 排対型(2)	供用日	19.35%			K2
	運転手(特殊)	人	36.85%			R1
	軽油 一般	L	16.65%			Z1

事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業
工事名	坂の上幹線明渠排水路護岸改築工事

コード	名称	単位	構成比 (%)	東京単価	地区単価	備考
	単 価	m3				
	*** S単 - 9号 ***					
	SP 基礎碎石	m ²			1.000 m	歩A 当たり算出
	SP 基礎碎石 7.5cm超え12.5cm以下,切込砂利 80mm級,材料費 + 施工費			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1) 碎石の厚さ 2) 碎石の種類 3) 施工区分		7.5cm超え12.5cm以下 切込砂利 80mm級 材料費 + 施工費			
	標準単価					
	K) 機械構成比		5.88%			
	R) 労務構成比		76.10%			
	Z) 材料構成比		18.02%			
	A) 市場単価構成比		0.00%			
	バックホウ賃料(刈-ラ型) 山積0.8m3(平積0.6m3) ~ 超低・~2014	供用日	5.84%			K1
	普通作業員	人	36.47%			R1
	特殊作業員	人	15.92%			R2
	運転手(特殊)	人	14.24%			R3
	土木一般世話役	人	8.95%			R4
	切込砂利 80mm級	m3	12.56%			Z1
	軽油 一般	L	5.43%			Z2
	単 価	m ²				
	*** S単 - 10号 ***					
	SP 裏込碎石	m3			1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 裏込碎石 切込砂利 80mm級,材料費 + 施工費			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1) 碎石の種類 2) 施工区分		切込砂利 80mm級 材料費 + 施工費			
	標準単価					
	K) 機械構成比		4.60%			
	R) 労務構成比		66.47%			
	Z) 材料構成比		28.93%			
	A) 市場単価構成比		0.00%			
	バックホウ賃料(刈-ラ型) 山積0.8m3(平積0.6m3) ~ 超低・~2014	供用日	4.58%			K1
	普通作業員	人	32.28%			R1
	特殊作業員	人	14.62%			R2
	運転手(特殊)	人	11.07%			R3
	土木一般世話役	人	8.11%			R4
	切込砂利 80mm級	m3	23.96%			Z1
	軽油 一般	L	4.95%			Z2
	単 価	m3				
	*** S単 - 11号 ***					
	SP 現場発生品及び支給品運搬	ton			1.000 ton	歩A 当たり算出
	SP 現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付2t級2.9t吊,無し,17.0km以下			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1) トラック機種 2) DID区間の有無 3) 片道運搬距離(km)		クレーン装置付2t級2.9t吊 無し 17.0km以下			



中心線成果表

点名	X	Y	備考
BP	-125772.136	-99376.069	0.00
EP	-125801.985	-99379.239	30.02

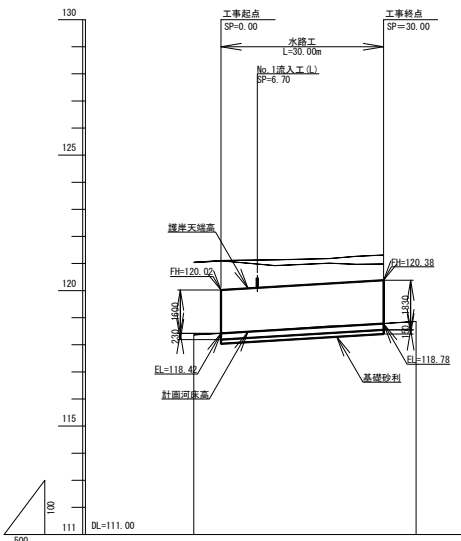
世界測地系(測地成果2011)

基準点成果表

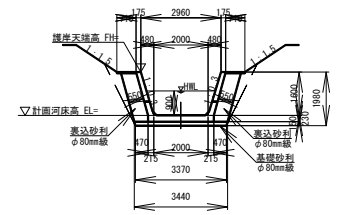
点名	X	Y	備考
T-1	-125812.530	-99378.148	
T-2	-125871.817	-99383.751	

世界測地系(測地成果2011)

Y=-99400

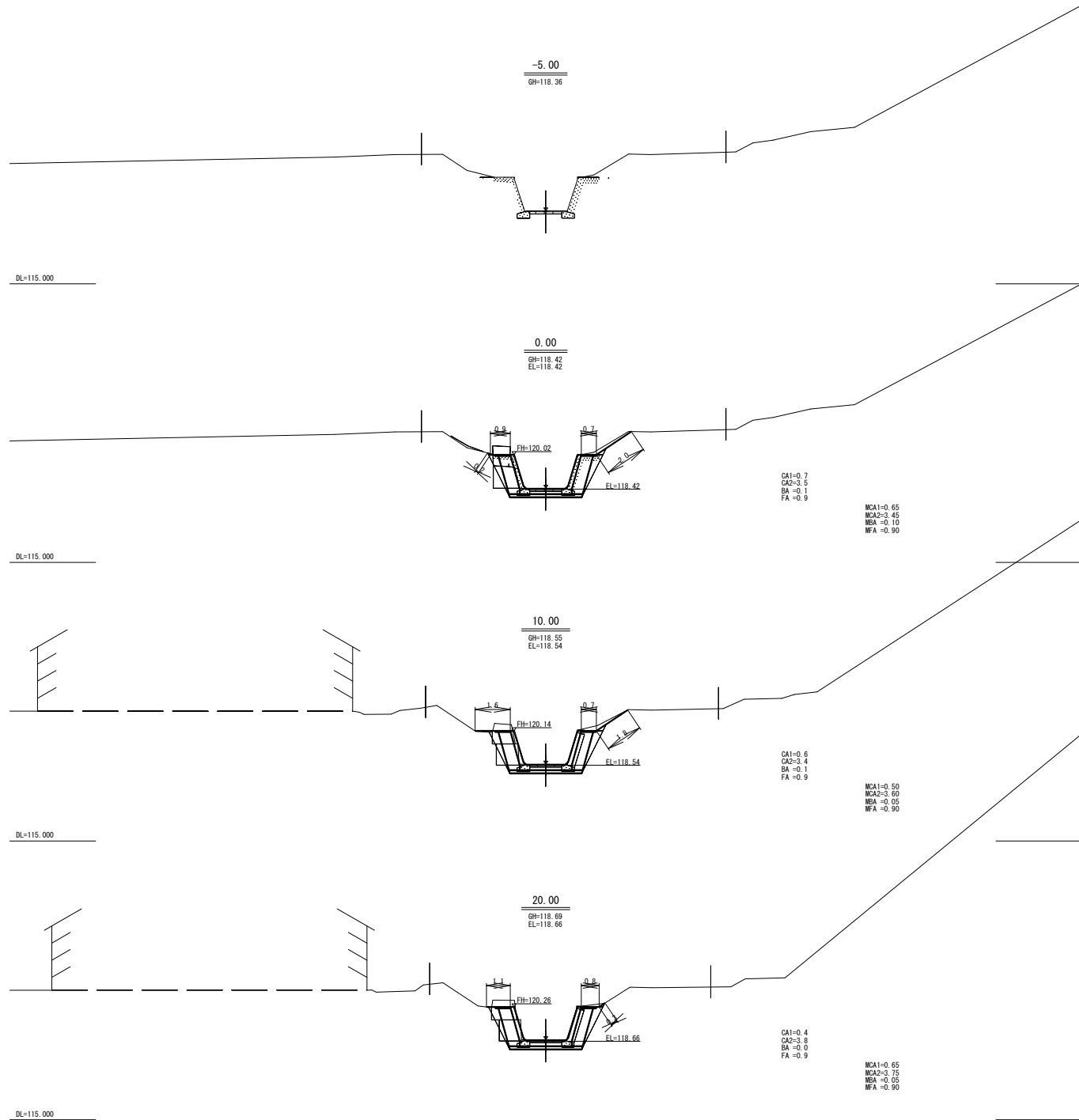


標準断面図 S=1:100

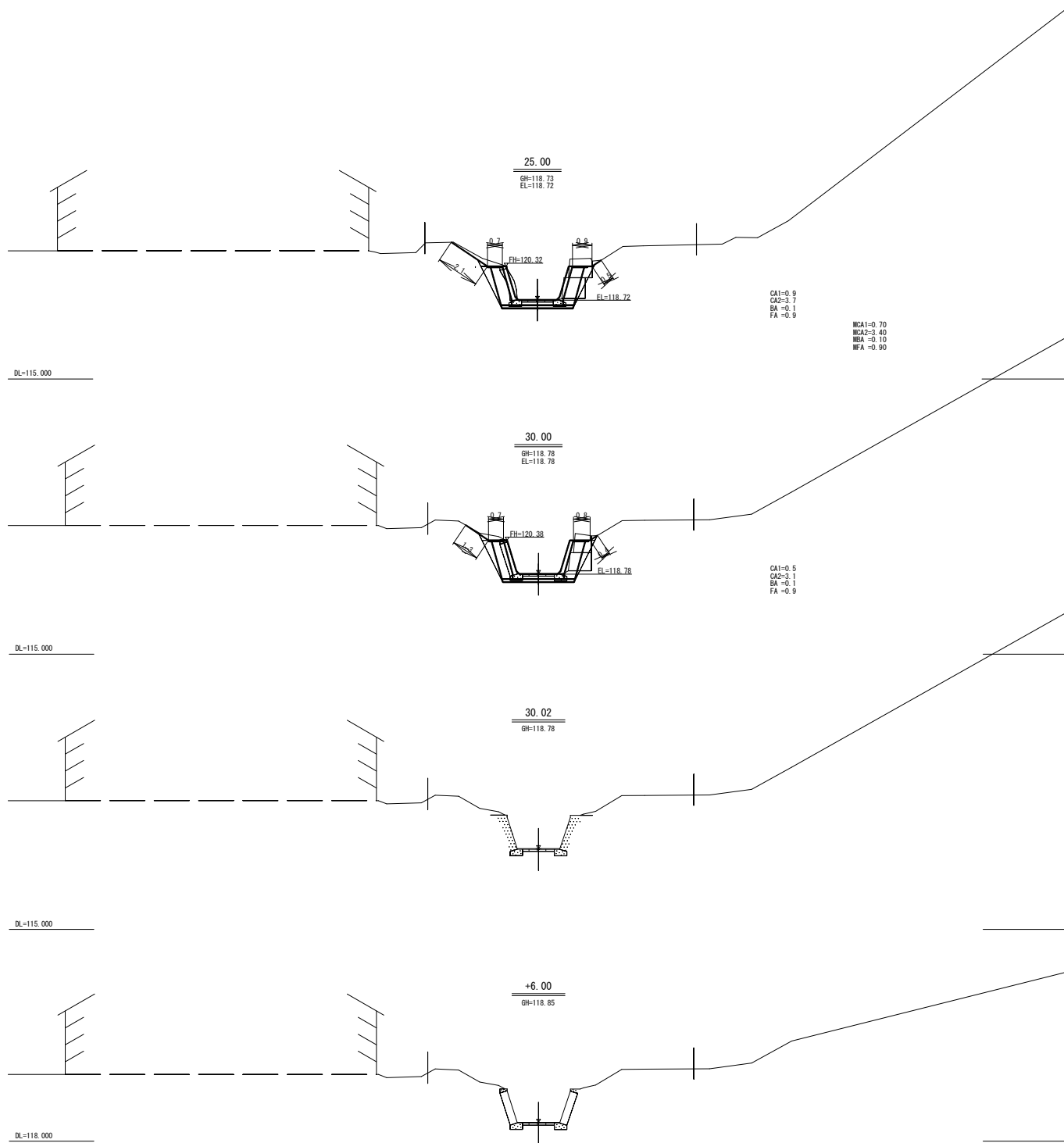


計	盛土	
	切土	
画	護岸天端高 (FH)	120.02, 120.14, 120.26, 120.32, 120.38
	河床高 (EL)	118.42, 118.54, 118.69, 118.73, 118.78, 118.85
現況	左岸高	121.04, 121.05, 121.11, 121.13, 120.92, 120.88, 120.85
	右岸高	121.05, 121.11, 121.13, 121.26, 120.97, 120.93, 120.90
	最深河床高	118.36, 118.42, 118.55, 118.69, 118.73, 118.78, 118.85
	地盤高	118.36, 118.42, 118.55, 118.69, 118.73, 118.78, 118.85
測点		-5.00, 0.00, 10.00, 20.00, 25.00, 30.02, -6.00
曲線		

工事名	令和6年度 坂の上幹線明渠排水路 護岸改築工事		
図面名	縦断面平面図		
作成年月日	令和6年3月15日		
縮尺	H=1:500 V=1:100	図面番号	1
事業所名	河西部 芽室町		



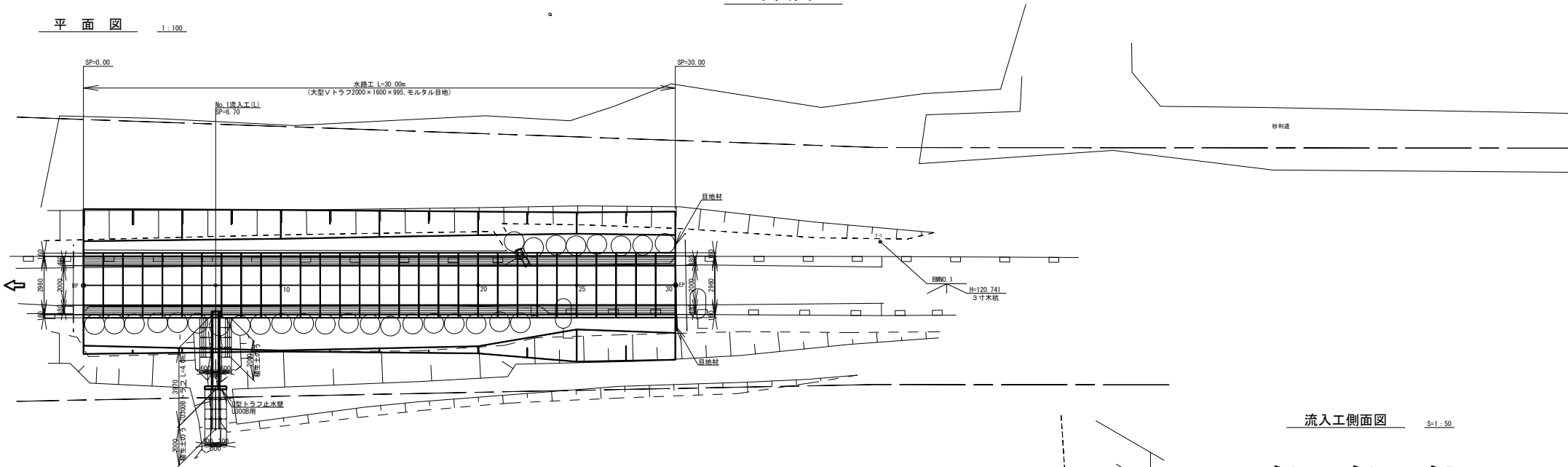
工事名	令和 6 年度 坂の上幹線明渠排水路 護岸改築工事		
図面名	横断面 (1)		
作成年月日	令和 6 年 3 月 15 日		
縮尺	S=1:100	図面番号	2
事業所名	河 西 郡 芽 室 町		



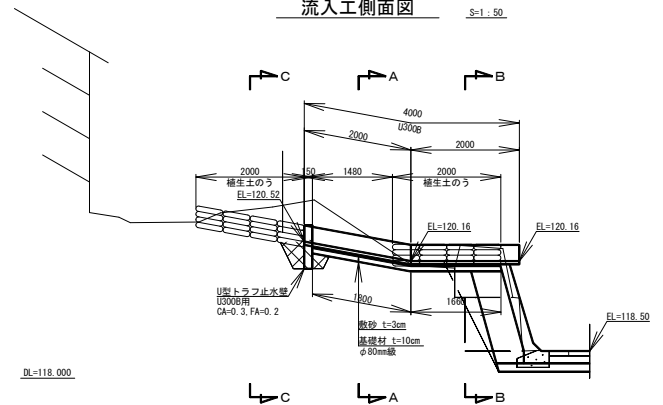
工事名	令和 6 年度 坂の上幹線明渠排水路 護岸改築工事		
図面名	横断面 (2)		
作成年月日	令和 6 年 3 月 15 日		
縮尺	S=1:100	図面番号	3
事業所名	河 西 郡 芽 室 町		

平面図

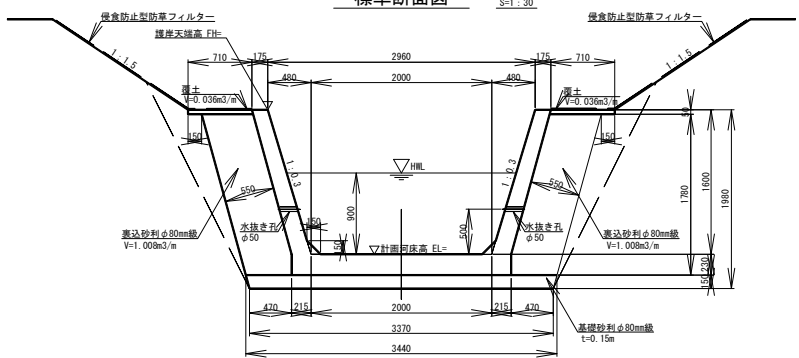
平面図 1:100



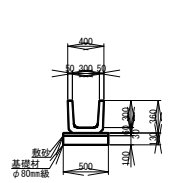
流入側断面図 S=1:50



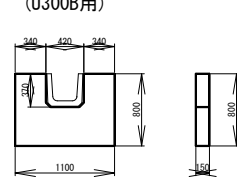
標準断面図 S=1:30



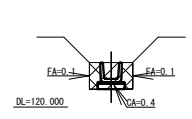
U300Bトラフ S=1:30



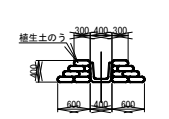
止水壁 (U300B用) S=1:30



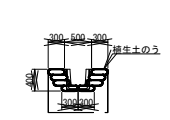
A-A断面 S=1:50



B-B断面 S=1:50



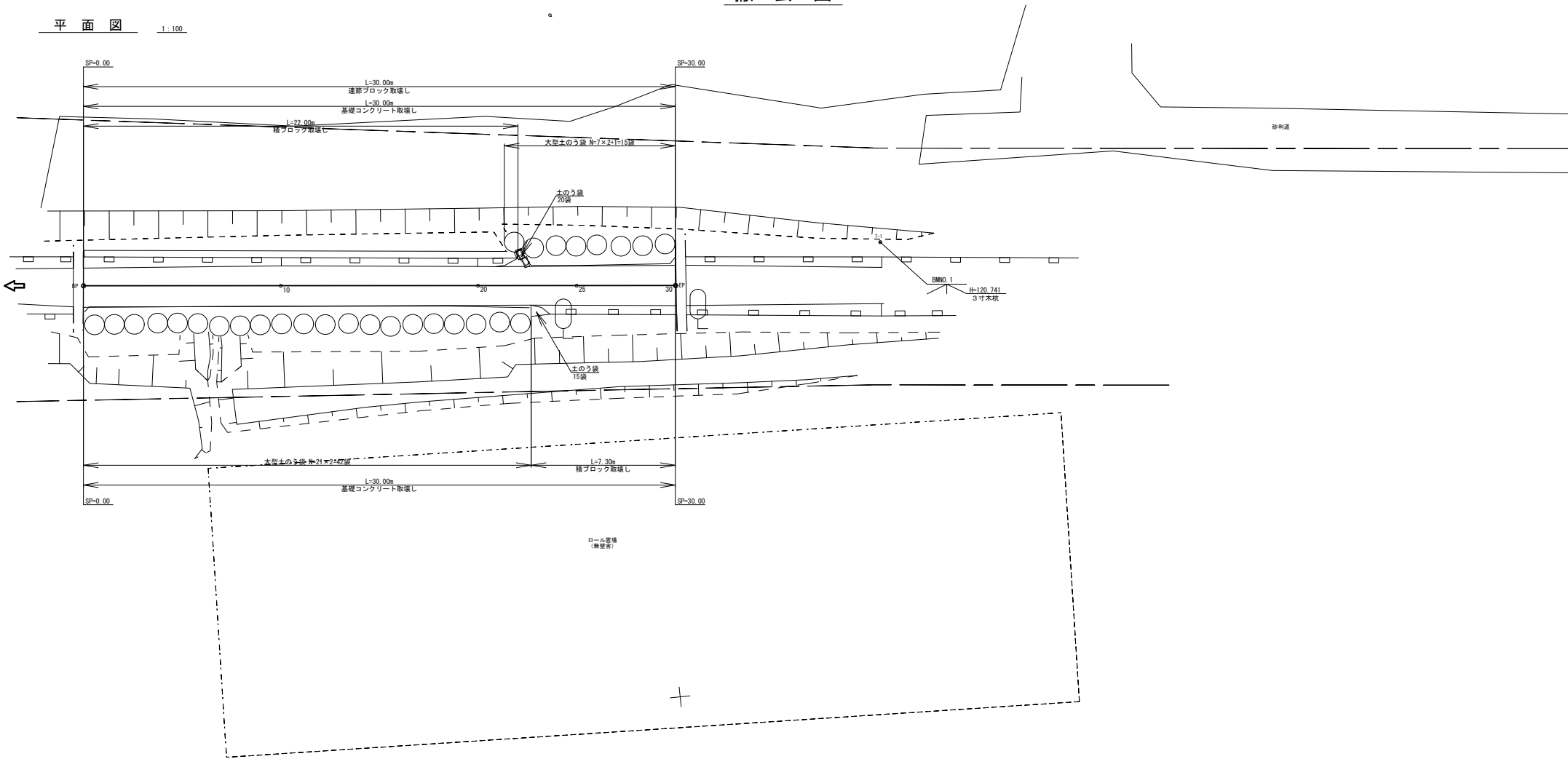
C-C断面 S=1:50



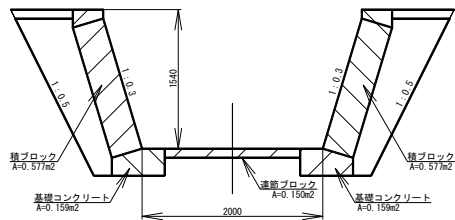
工事名	令和6年度 坂の上幹線明渠排水路 擁壁改修工事
図面名	平面図
作成年月日	令和6年3月15日
縮尺	S=1:100 図面番号 4
事業所名	河西部 芽室町

撤去図

平面図 1:100



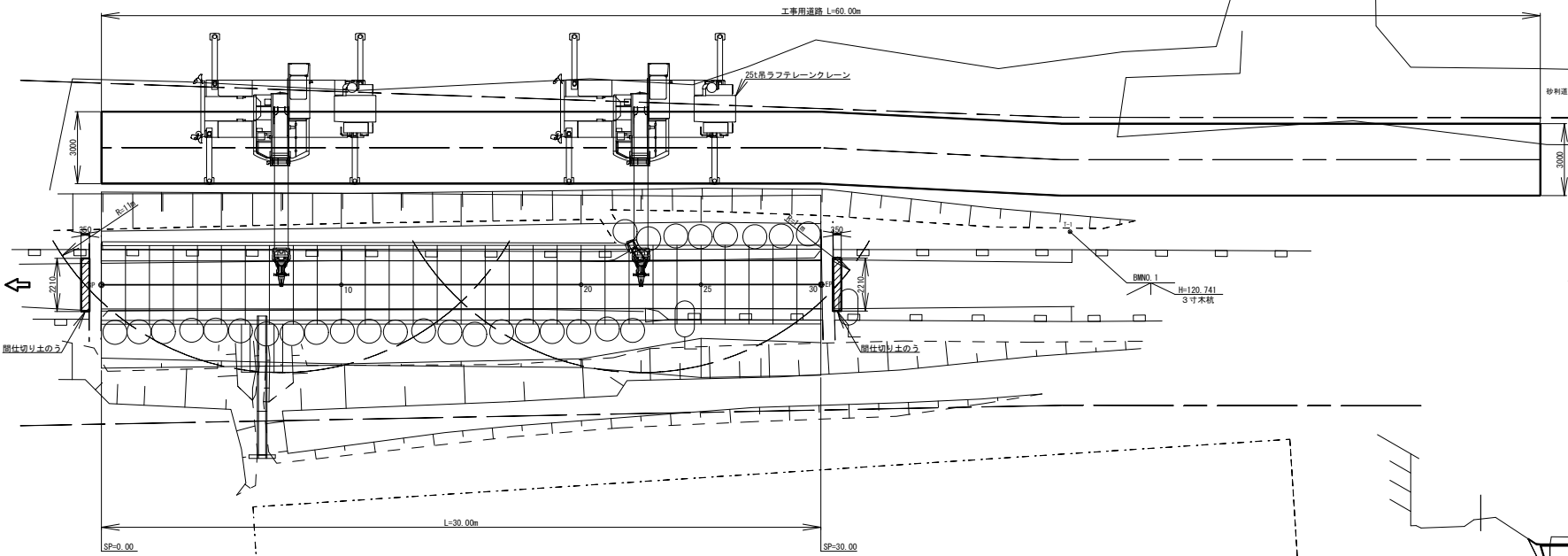
撤去断面図 S=1:30



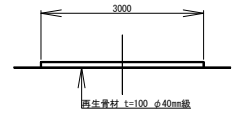
工事名	令和 6 年度 坂の上幹線明渠排水路 護岸改築工事		
図面名	撤去図		
作成年月日	令和 6 年 3 月 15 日		
縮尺	S=1:100	図面番号	5
事業所名	河 西 郡 芽 室 町		

仮設計画図 (参考図)

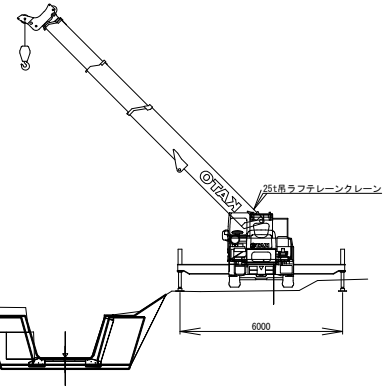
平面図 1:100



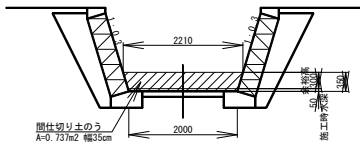
工事用道路 S=1:50



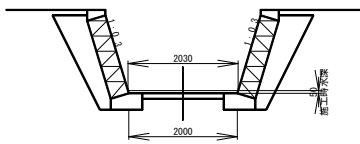
クレーン架設 1:100



土の締切 S=1:50

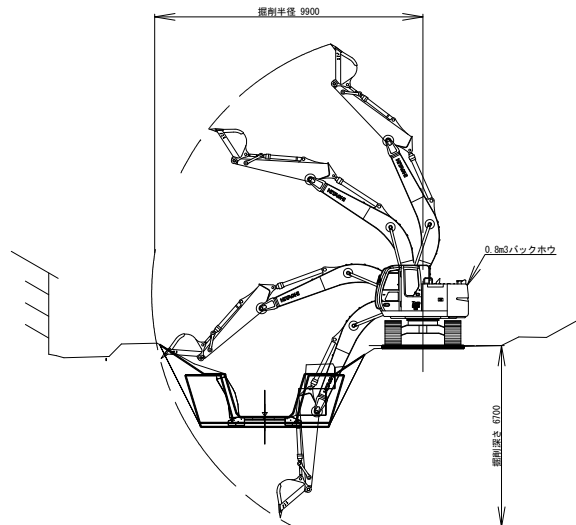


仮設流量 S=1:50



$I=1/85$
 $n=0.03$
 $A=0.10m^2$
 $P=2.10m$
 $R=A/P=0.05m$
 $V=1/n \cdot R^{2/3} \cdot I^{1/2} = 0.49m/s$
 $Q=A \cdot V = 0.05m^3/s = 180m^3/hr$

掘削作業断面 1:100



定格総荷重表

ラフテレーンクレーン 25t吊 (単位:t)				
作業半径	10.96mブーム	15.22mブーム	21.61mブーム	28.0mブーム
9.0	6.60	6.60	6.35	5.35
10.0		5.30	5.70	4.80
11.0		4.35	5.00	4.30
12.0		3.58	4.20	3.85
13.0		2.95	3.58	3.50

クレーンの吊荷重 F
 クレーンフック重量 W1 = 0.22t
 大型トラフ重量 W2 = 3.00t
 $F = W1 + W2 = 0.22 + 3.00 = 3.22t < 4.35t \therefore OK$

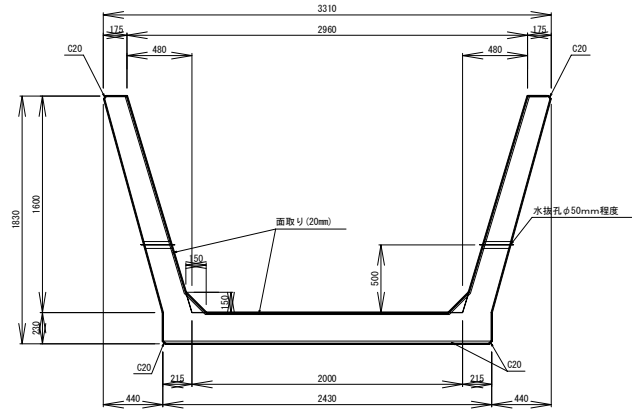
(参考図)

工事名	令和6年度 坂の上幹線明渠排水路 護岸改築工事
図面名	仮設計画図 (参考図)
作成年月日	令和6年3月15日
縮尺	S=1:100 図面番号 6
事業所名	河西部 芽室町

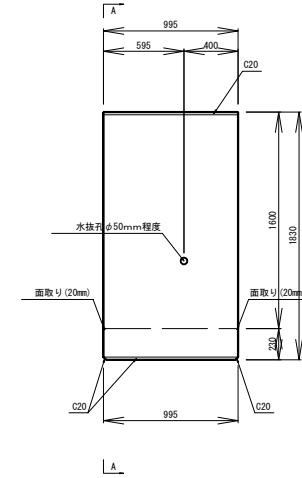
V型フルーム製品規格図
V2000×1600×995(増厚15mm)

S=1:20

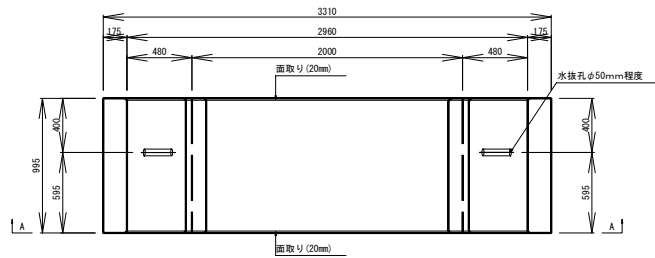
断面図(A-A)



側面図

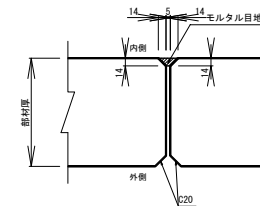


平面図



目地 詳細図

S=1:5



製品名	V2000×1600×995(増厚15mm)			
図面名	V型フルーム製品規格図			
体積	1.199 m ³	質量	3000 kg	

(参考図)

工事名	令和6年度 坂の上幹線排水路 護岸改修工事		
図面名	V型フルーム製品規格図		
作成年月日	令和6年3月15日		
縮尺	S=1:20	図面番号	7
事業所名	河 西 郡 芽 室 町		

